謡抄

和書門　類
一七一六二　號
七二　函
三　架
一〇　冊

内閣文庫

番號	和	17162
冊數	10（	2 ）
函號	199	221

Kodak Gray Scale
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
colorchecker
x-rite
MSCCPPCC0411
綴じ部（喉部分）の文字など開きが不鮮明な箇所あり
国立公文書館
National Archives of Japan

白樂天
唐ノ元和中ノ詩人也。白樂天日本ヘワタリ
タル事。本據イマダアキラカナラズ。漁翁ト出
アヒタルト云事モミエズ。樂天ガ李絳ト云
者ノ方ヘヲクル詩ニ。我身ヲ漁翁ナル由作レ
リ。是ナラデハ似タル事モイマダ是ヲ見ズ
日ノモト　日本ノ名也。日本トカキテ。ヤマト、
ヨメリ。然ヲ。文学ニツキテ。日ノモトヽ云也。我朝ハ。
日ノ出ル所ヘチカキニヨリテ。日ノ本ト云也

淺草文庫

抑是ハ唐ノ太子ノ賓客白樂天トハ我事也

太子ノ賓客。日本ニテハ學士也。春宮ノ御師範也。名譽ノ儒者コレニ任ズ。コトニ重代ノ才覺撰テ。ナサルヽコト也　唐太子賓客白樂天。嗜酒作酒功賛ト。白氏文集六十一ニアリ　唐ノ太子ハ。憲宗皇帝ノ太子ニテマシ〱シ時ノ事也。賓客トハ客人分ニテ。カヽヘテヲカレタルト云コトナリ。酒ヲタシナムト云カラハ。此謡ノ用ニハタヽス

彼土ニワタリ日本ノ智恵ヲハカレトノ　此事來歷ナシ

智恵　智ハ。思ヒハカッテ物ヲ思ヒハカル心也。恵ハ。ハタヲカスレテ。胸中ニ住スル心ナリ。サレバ智ハ恵ニツカハレテハタラクノ也

宣旨　天子ノ仰出サルヽ義也

海路ニヲモムキ候　海ノミチ也

東海ノ波路　東ノ海也

雲ノハタテ　空ニ旗ノ手ノゴトクナビク雲也

タグヒハ雲ノハタテニ物ゾ思フアマツ空ナル人

ヨコフトテ歌ノ心ハ三ダレテ物思フト也
モラヌヒノツクレ　景行天皇十八年五月ニ
船ニ乗給ニ日暮テ不知著岸遥視火光
則得著岸天皇問其火處給國人對曰八
代縣也其火不得主非人火名其國曰火
國今世號肥前肥後モラヌ火ノツクレト云
タル物也
葉ヤ舟ヲ三セツラン　一葉ノ舟ノコトハ黄
帝見浮葉以為舟韻會ニアリ言ハ水ニウ

カベル木ノ葉ヲ見テ舟ヲ作也
湖水漫々碧浪浸天　海ノ水ヘ々トシテ千
三チテミドリノ色ナル波天ノ影ヲヒタスニ
ナリ字如此可書歟
越ヲ辞セシ范蠡ガ扁舟ニ棹ヲウツスナル五
湖ノ煙ノ波ノ上へ　范蠡トハ陶朱公ガ事也越
ノ王ニツカヘシ臣下也忠節ノ者也後ニハ
五湖ト云所ヘ隠居シテ扁舟ニ棹ヲサシテ居
タル也煙ノ波トハ水上ノ廣キ所ヲニヤシバホ

ボリト煙ノ立タルヤウニ見ユルヲ云也
松浦カタ　肥前也
オキツナミ　澳ニタツ波也
朝ナタナ　早朝也。一云タキハヤキ也
万里ノ波濤ヲシノギ　万里ト云ハ路ノトヲ
サヲ云ン必一万里アルニテハナケレドモハルカ
ニトヲキヲイハンタメ也
小舩一艘ウカベリミレバ漁翁也　漁ノ翁也
漢土ノ人ナレドモ　漢土トハ大唐ヲサス也

シラ舟　松浦ノ舟也
佛二ノ靈文ヲ唐土ノ詩賦トシ　法華ニ云ク
文筆讃詠ト云ヘリ。此文ヲ大唐ニテハ。天台
家ノ師注スルトキ文謂歌詩之流。筆謂銘
賦之類。頌徳謂之讃。寄情謂之詠トイヘリ。
此類ヲ靈文ト云ヘル乎。但靈文ト出セルコト。
編年通論十二巻ニ見ヘ。貝葉靈文咸歸冊府ニ
イヘリ。然バ經ヲ。貝葉ト云故ニ靈文トハ經
ヲサス歟。但佛經ヲ六如此ツカヒツケザル分。

天竺ニハ月氏國ノ事也。靈文ハ經文ノコトナ
也。唐土ニテ詩賦ト云ハ天竺ノ經文ト同事
也ト云義也
ヤマト歌　和歌也。詩ヲモウタト云也
目前　目ノ前ニアルトイフ
青苔衣ニ似テ岩ノ肩ニカヽリ白雲帯ニ似
テ山ノ腰ヲメグル　此詩ノ義ハシレルスニ及バ
ズ。コヽノ詞ニキコエタリ。シロキ雲ノ山ノコシヲ
メグリタルハ帯ニ似タリト云義也。青苔ハ

アヲキコケ也
苔衣キタル岩ホハサモナクテキヌヽ山ノオ
ビヲスルカナ　イハホノコケヲ衣ト云ナレタリ。
苔衣ハ服衣也。ナキ人ノ跡ヲシタヒテスミニ
衣ヲソムル也。墨染衣トモ云　ミナ人ハ花ノ
衣ニ成ニケリ。苔ノタモトヨカハキタニセヨ
深草御門ニ良峯宗貞別レ奉リ。ソノヽ
出家シテスミゾメノ衣ニナセリ。御門ノ御一
回忌ニ皆々ハラヽレテスミゾメヲアラタム

所ハイヅクトモナク遍照ヨミテシクレリ
オホツカナ　無覺束ト書不審ナル事也和語也
イキトシイケル　生ト生タル物ノ事也
古今假名序ニイキトシイケル物イヅレカウ
タヲヨマサリケルト
鳥類畜類　鳥ノタグヒケダモノヽタグヒ也
證歌　證據ニ引歌ノコトナリ　昔壹岐守紀
花ニナクウグヒス水ニスムカハヅ
良貞住吉ニ参詣ノ時浦ノワスレ草モトメテ
出ケルニ木ノモトニイツクシキ女ノヒトリタテ
リ心シカケテイヒヨラントスレバカノ女今ハ露
バカリ思フ事アリカサネテコヽアタリニキ給ヘ
必アヒミントチギリテモロトモニ立歸リヌ次
ノ年ソノ契ノゴトク良貞又カノウラニイデヽ
待ケレド其女ノオモカゲトオボシキ人ハナクテ
侍ジニイサゴノウヘニマヘワタリスル蛙ノ跡
ヲミレバ三十一字ノ文字アリ。ヨミテミニ
住吉ノ浦ノミルメモ忘草ハカリニモ人

ヌトハレヌル　此ノ時良貞驚キテミレバ
過レカタニエテケル美女ハ蛙ヨト思フテ。戀ノ
心サメケルト也
コシヲレ歌　上ノ句下ノ句ツヾカヌ歌也
孝謙天皇　人皇四十六代
御宇　御代ナリ
タカマノ寺ノ梅ガ枝ニ　大和也。カツラキ山ノ
内也高天寺在リ
初陽毎朝來不相還本栖　孝謙天皇ノ御宇

大和國高天寺ニスム僧ノ。最愛ノ童子
アリケルガ。ホドナク身マカリテ。三年ニ成ヌル
春ノコロ。軒バノ梅ニ。黄鶯來テナク聲ヲキ
ケバ。百色トハナクテ。初陽毎朝來不相還本
栖トナク。是ヲ彼僧硯ノウヘニウツシテ。ヨクノ
ヨクミレバ。二十一字ノ詠歌也。故ハ　初陽
ノアシタゴトニハ來レドモ。アハデゾカヘルモト
ノスミカニ　ト云歌ナリ。是鶯ノ聲ナガラ。
サテハ彼童生ヲカヘテキタレルニヤト。愁涙

キモニ銘ズト云ヘリ
タグヘテ　ナズラヘテノ心也。比ノ字也
アリソウミノ　海ノ惣名也
和國ノ風俗　日本ノモノヽ所作ノ事也。歌
道ナドノ事也
ブガノ曲　マヒノ手ウタヒノ音曲也
娑竭羅龍王　此末ノ八大龍王ノ注ニ見ヘタリ
老ノ波　カホニシハノヨリタルヲ云也
青海樂　ワウレキテウノ樂也

アシハラノ國　日本ノ事ナリ。豊蘆原ノ國
ト云也
ウゴカジヨロヅ世マデ　治マリタル事也
住吉ノ神ノチカラノアランホドハヨモ日本ヲバ
シタガヘサセタマハジ　聞エ申ス分ナリ。別ニシサ
イナシ。但シ託宣歟所見ナシ
スミヤカニ　ニコリナキ事
伊勢　太神宮　石清水　八幡
賀茂、別雷神　春日　四所大明神

鹿嶋　春日同體　三嶋　山ノ神

諏方　三輪大明神ノ御子

熱田　日本武尊

嚴嶋　娑竭羅龍王第三ノ姫云　此説モアリ。

日本書紀ニハ。天照大神ノ御子ト。タシカニ

アリ三社也

八大龍王ハ。八リンノ曲ヲ奏　八大龍王トハ。

一ニハ。難陀龍王。二ニハ。跋難陀龍王。三

ニハ。娑伽羅龍王。四ニハ。和修吉龍王。五ニハ。

徳叉迦龍王。六ニハ。阿那婆達多龍王。七ニハ。

摩那斯龍王。八ニハ。優鉢羅龍王也。八リンノ

曲ヲ奏レバ。リント云フ事心得ガタシ。八音カ。八

音ナラバ。樂ノ道具ニ。金石絲竹匏土革木。コ

ノ八ヲ。八音ト云。此ウツハモノニテ奏シタル曲也

翔空海　惣ノ龍神ハ。神通神變ヲ得テ。或時

ハ大身ヲ現ジ。アル時ハ小身ト成。空ヲカケリ

海ニ入リ。自由自在ナリ。是ヲホメテ云ヘル也

小忌衣　ヲミノシヤウゾクノ事也

手風　神風

手風ト申事所見ナシ。前ノ言葉ヲウケテ申事アリ。謡ニハ毎度カヤウノ事アリ。神風龍田ノ明神ヲ申ナリ。又伊勢ノ末社ニ瀧祭ノ神アリ。是モ風神也。風ハ八方ニアリト也

唐船　ハコヽヨリ漢土ニカヘリケリ

カラノ舟モドリタルト也

終

兼平

信濃路や木曽ノ山家　木曽。信州ノ名所也

義仲　征夷大将軍。正五位下。清和天皇十世ノ孫也

江州粟津　山王祭ノ時。粟ヲ船ニテ供ズル故ノ名也

木曽ノ棧　木曽ノ山ニカケタル橋也

草ノカケ野ノカリ枕　草ノ陰野　非名所

假枕手カリソメナル枕也

ヤバせノ浦　江州名所
便船　便ハタヨリ。便宜ノ船也。便船ノ字往
往ニ見ヘザル也
利益　利ハ吉也。益ハ増也。言ハ別ノ利益
ニ。船ヲワタシテタマヘト云義也
シユツケ　出家トハ生ツイタル俗姓ノ家ヲ出釋
氏ニ歸依スルヲ云也。釋氏トハ釋尊ノ氏
也サル程ニ佛言若出家不修善根不如在
家若在家能修善根則勝出家ニ云言ハ若出

家ノ身ニテ。善事ノ根本ヲ修理セズンバ。在
家ノ者ニハ。ヲトルベシ。若在家ノ身ナリトモ
善事ノ根本ヲ修理スル事アラバ。出家ニハ
マサルベシト云義也。釋氏要覽ニアリ。又出
家者經ニ云棄恩入無為矣。生々世々ノ間。
男女ノ恩愛ヲ斷コトアタハズ。今此恩愛
ノ家ヲ出ル義ナリ。無為トハ天台云無住
無著名真出家矣此ノ意也
御經ニモ如渡得船ト　是法華ノ文也。法華

經ニ値ヲ。如渡得船トイヘリ。生死ヲバ河ニ
オチテ。浮沈ニタトヘ。船ヲ法華經ニタトフル也
旅行ノ暮　タビニユク暮ノ義也
三ナレザホ　水馴竿。水ニナレタルサホ也
法ノ人　法師ノ事也
比叡山　延暦十一年十一月十一日ニ。今
ノ平安城ヲ。桓武天皇タテタマハントノ勅ニ
ヨリテ。此都ノ地ヲウラナハセラルヽ時。天下
無雙ノ所ナレドモ。丑寅ニアタリ。日枝山
ニ佛法ヲヒロメ給ハズハ。今ノミヤコニ災難
ヲコリテ。成就スベカラズト申セシ砌。傳教大師
イミジクテ。此山ニ顯密二門ヲ弘テ。國家ヲ
ヤスンゼント奏セラルヽニヨリ。桓武傳教ノ
御叡ヲヒトツニナサレテ。タテラルヽ故ニヨリ。
ヒヱダノ名ヲアラタメテ。比叡山トナヅケテ。
桓武天皇鎮護國家ノ勅ヲカウブリ。傳教
立ラルヽ也。太子傳ノ大旨也
山王二十一社　日吉二十一社ノ鎮座也

八王子　二十一社ノ内乎　八王子コレハ
比叡山ノ東ニツヾキテ小山アリ。此峯ニ。
金石トテ石アルウヘ。天照太神ノ御子。
五男三女ノ神アマクダリマシマスヲ八王
子ト申ス也

トツサカモト　戸津坂本。江州名所。歌ニ不見

ソレ吾山ハ王城ノキモンヲマホリアクマヲ拂一佛
乗ノ三子　夫吾山ハ護王城鬼門。拂悪魔一佛
乗峯者。悪魔ヲハラフ是ニ二ツアリ。欲界ノ
最頂第六ノ天ニ。魔王居シテ。下界ノ者ノ
ヲ。眷屬ト思テ。此界ヲイデントナスル出
家ニ成障ヲ。天子魔ト云。是ヲ不動明王
降伏シ給也。二ニハ意魔。心ニ慢ヘヲオ
コス者ハ。入魔道。此意魔ヲバ降スル也。一
佛乗ノ三子トハ。法華經ニ。於一佛乗トイ
ヘリ。日本ニヲイテ。法華ヲ弘ル山ナレバ比
叡山ヲ。一佛乗ノ峯ト云也

悪魔ヲ拂　惣シテ丑寅ノ方ニ悪鬼アリ。東

海ニアタリ。トサク山ト云山ニモヽノ大木アリ。此木大木ニテ。此國ノ丑寅ノカタヘ。ヨコサマニナリ。サレフサグ。此木ニ神マシ／＼テ。悪鬼ヲフセグ故ニ。大唐黄帝ノ時。桃板門ヲ鬼門ニタテラルヽ。コレハ釋迦佛出世以前ナル故也。今ハ佛法東漸ニヨリ。佛法ヲ以テ悪鬼ヲハラフ也

一佛乗ノ三子

一佛乗ノ法華ヲ弘ル所ナル故也

ワシノ三山

鷲御山トハ。コレハ天竺ノ靈鷲山也。此峯飛来テ。成比叡山。今ニトビキタル峯トアリ。故ニ叡山ヲワシノ山ト申也

天台山ト號スルハ。シンダンノ四明ノ洞ヲウツセリ

號天台山。移震旦四明洞者。彼山タカウノ。四方明カナル故也。移之比叡山ニモ有之

傳教大師桓武天皇御叡ヲ一ツニシテ延暦年中ノ御草創　是ハ延暦十一年。霜月十一日ニ桓武天皇傳教大師。御コヽロヒトツニ

シ。日枝ノ名ヲアラタメテ。比叡山ト號シ。
三支土田メ九院ノ佛閣ヲタテ王城ハ三支
地鎮メ。九重ノ皇居ヲカマヘ給フ。鎮護國家
ノ勅此ノ御代也
吾カタツ杣ト詠シ給ヒシ　傳教大師之比叡
山開山之時之御歌。　阿耨多羅三藐三
菩提之佛タチ。我カ立ツ杣ニ冥加アラセ給ヘ
我タツソマ叡山之事也。委キ事ハ從リ天台宗
シルサルベシ

根本チウタウ　根本中堂トハ比叡山止
觀院ニテノ坐禪工夫ノ道場也。根本トハ天
台宗ハ。止觀ゝ心ヲ根本トスル故也。中堂
トハ。此堂ヲ中ニテノ。北ニ毘沙門堂。南ニ大師
堂アル。三ツノ中ナル故ニ。中堂ト云。法ニ付
テハ。中道ヲ根本中堂ト云フ。是ニヨリテ。六
即結界ノ第六ノ中臺ニアテラルヽ也。智證
大師。三堂一堂ニツクラルヽニツイテ。當時ハ
一堂也。一堂ヲ三ツニワケテ。北ハ毘沙門ヲ安

ジ。南ニ大師ヲ立ル也

大宮権現 二十一社。ソウヅカサノ神也

ハシドノ波止土濃歟。子細タシカニ所見ナシ。

諸社影嚮シ来。ソノ神社ニ名所アル事十

リ。ソノ社司相傳シテ。シルシヲキ申也

一サイシユジヤウシツウブツシヤウニヨライ

一切衆生悉有佛性如来者。是ハ涅槃經

ノ文也。一切衆生三十心アリ心ヲ佛性ト

ス。釋摩訶衍論ニ見タリ 又二月十五ノ夜

半ニ。釋迦佛涅槃ニ入給フミギリ。人天大

會三十 無常ノ思ヒヲナス。佛コノ悲歎ヲ。ヤ

メンガタメニ。如来ハ常住ナリト宣給ヘリ

佛衆生通スル身也 譬ヘバ。水ト波トノ如シ。

佛ト衆生ト。ワカルレドモ。一水ニシテ通スルナリ。

天台六祖云 濁水清水波湿無殊矣

一佛せウノ峯ニハシヤナノコズヱヲ雙 一佛乗ノ

峯舎那梢雙者。舎那ノ梢トハ。舎那ハ梵語。

々々トハ。天竺國ノ初ヲ梵天下テ住セシ時キ

ノ語也。爰ニハ。淨蒲ト云フ報身ノ事也。報身
トハ。修因ニコタヘテ得ル所ノ果報ノ身也。是レ
ヲ眞言ノ教主トス。比叡山ニハ天台眞言ノ
二宗ヲ弘ル故ニ。一佛乗ノ峯ニハ舎那ノ梢ヲ雙ト云
麓ニシクワンノ海ヲタヽヘ　麓止観海湛者。是ハ。
止観々心ナリ。天台云。法性寂然名止。寂
而常照名観。參譬如石中ノ火。々ヲ具スレドモ。
相ニ出サレバ。アツキコトナキハ止也。石ノ性ニ
火アルハ照ノ徳トイフ。是ヲ観ト名也。菩薩處
胎經ニ云。法性如大海矣。此意也
カイヂヤウヱノ三ガクヲ見セ三タウトナヅケ
戒定慧三學見。三塔名者。戒ハ。圓頓戒壇
定ハ。中堂止観院。慧ハ。惣持院。今此ノ三學
ヲ表ノ。東塔。西塔横川ノ三ノ峯トスル也
人ハミタ一念三千ノキヲアラハシテ三千人ノ
シユトラハキエンユウノヽリモクモリナキ
人又一念三千ノ機顯而三千人衆徒置圓
融之法無曇者。人ノ念々ヲ。三千ト云フ故也

三千ノ衆徒トハ比叡山ハ一念三千ノ観
行ヲコラス故表之。三千ノ衆徒ト云也
月ノ横川モ見エタリ　比叡北谷横川也　非ニ
水ノ邊也
サヾ波ヤシガ唐崎ノ一ツ松　小波シガノ邊之
枕詞也。志賀辛崎。江州ノ名所也
七社ノ神輿　二十一社ヲ七社ノ三コシヘ
ウツシ申テ。戌タテマツルカ。但上七社ヲウツ
シ申ス。彼ノ社家ノサタ仕ル事ナリ。祭禮ノ時。

神輿ヘ移シ申ス次第種々アル事也
三ナレサホコガレ行　三トレサホ。前ニアリ。漕行也
昔ナガラノ山櫻　長等。志賀ノ邊ノ名所也
錢昔トカリタリ　サヾ波ヤシガノ都ハアレニシ
ヲ。昔ナガラノ山櫻カナ
袖ヲカタシク草枕　片敷也。心ナシ
粟津ノ原　江州ノ名所　前ニアリ
ハクゼン骨ヲクダク　白力碎骨手。白刃トハ
ツルギノ。トギタテタル。ヤイバニテノ骨ヲキ

リクダクト云義也
ガンせイヲヤフリ　破眼睛トハ。眼ノヒトミノ事也
コウハタテヲナガシ　紅波流杵トカクベキカ。尚書
ニ血流漂杵云。謡ニ云意ハ大合戦ノ時血ノ
流事多シ。紅ノ波ノ如クナド。タトヘテ云タカ
ヤナクイニザンクワヲミダス　簶亂残花ノ字乎
ヤナグヒニ残花ノチル如ク箭ヲ多クイル義乎
ミユラノチマタハサハガシヤ　脩羅衢騒者。是脩羅
道ノ事也。悪心ノ云。明阿脩羅道者有二一種。
本勝者住須弥山北巨海之底劣者在四
大洲間。山中ノ雲雷鳴是謂天鼓怖畏周章
心大戦慄矣。今ノ謡ノ意ハ。兼平脩羅ノ砌
ニ死タル妄念残テ。死期ノ事ヲアラハス也
カツチウ　甲ハ鎧也ヨロヒノ事也。冑ハ兜鍪也。
カブトノ事也。礼記ノ疏ニアリ。日本ニ云
トハチカヒタル也
ギヨフ　漁父ノ字也。スナドリスル者ヲ云也
モノヽフノヤバせノヤウ　武士ノ矢ト。ウケタル也

御法ノ船　此ノ前ニ云如ク渡ス得船ノ義ニテ。
御法ノ船ト云フ
ワレラマタカノキシニワタシテタバせタマヘノ
我又渡彼岸者カノキシニワタストハ。天台云。
依因死屍得到彼岸矣。又向白骨誰生彼
我矣兼平死シテ白骨トナツテ。敵ミカタノ
恩タエタル所ヲ彼岸ニイタルト云也
夫有為生死ノ衢ニキタツテ去事ハヤシ老少
以前後不同夢幻泡影イツレナラン

金剛經云。一切有為法如夢幻泡影矣。一
生ユメサメズシテノ。恩ヲヨロコビ怨ヲニクム。起
信論祕作記云或有報恩受樂報怨受苦
當知此事唯一ノ夢心矣
槿花一日ノ榮　樂天ガ詩ニ日。槿花一日
自為榮槿花ハ朝ニ開テ暮ニ落ルホドニ。
一日ノ間ノ榮華ト云也
瀬田　江州ノ名所
シウ〲ニキ　主人ト従者トニ騎也

フセキ矢　敵ヲフセグ矢ヲ申也
所存　是ハ日本ノ世話也。心ニ思フ所ト
云義也
末代ノ御恥辱　末ノ世マデノ恥ト云義也。
辱モ。ハヂ也
ジガイ　自害ノ字也。ミヅカラ死スル事ヲ云也
比ハ正月ノ末ツカタ　正月二十一日ノ暁ヨ
リ。暮ニ及マデ。方々ニテノ合戦也ト。山
中撿挍申也

ヒラノ山嵐　比良山。江州名所
クレハドリ　應神天皇之時。日本ヘ従呉
國渡テ。アヤヲ織タル女ノ名也
フカ田ニ馬ヲカケオトシ　同日ノ入相ノ時
也ト撿挍申
モチヅキノコマ　望月ノ駒ハ。八月十五夜ノ
駒也。従東國上荒駒也
命ハ槻弓　槻木ニテシタル弓也。ツレヅ命盡
ト云カケタリ

ウチカブトニカラリトイル　カラリト云フ矢音
當流ニ不存候。此イタリ一デハ。平家物
語ニ。步モタカハサルヨシ撿挍申ス
タマリモアヘズ馬上ヨリヲチコチノ土トナル
此時義仲落馬ニテハナケレ。イタ手ナレバ甲ノマツ
カウ。馬ノ頭ニウツシアテ。ウツブシ給フ所ヲ。相
模國ノ住人。三浦ノ石田ガ郎等二人ヲ
チアヒテ。クビヲトルトアル由撿挍申ス
遠近ノ土　タヽ落タルトカリテ。遠キ近キニ

一心ナシ
シユクン　主君也。主人ヲ指テ君ト敬タル義也
何チカ可期。　後ヲ待事ナキト云フ心也
クワウゲン　荒言也。口ニマカセテ。フクヘモナクモノ
ヲ云フ義也
一キタウゼンノヒジユツ　一騎當千也。一身當ニ
三千ト陳無已ガ詩ニアリ。一人ガ千人ニ
アタルト云フ義也。秘術ハヒミツノ道也。術ハミチトヨム也
マクリギリ　コレハ兵法ノ詞也。當流ニ不存候

クモデ十文字　コレモ同前

定家

北時雨　北ハ冬ノ方ナルヨリ。北時雨トイヘリ

アサマタキ　早朝ノ事也

山又山　カサナリタル山也

神無月十日アマリ　中旬也

時雨ノチン　時雨ノ比。紅葉ナトヲモテアソバレン

亭也

コノ所ヲイカナル所ト申候ヤ　コノ言葉ハ。

不審シタル詞也

藤原定家卿　權中納言後成卿ノ子。卿トハ大
納言中納言參議散ニ位三ノ位マデヲ云也
古跡　フルキアト也
逆縁　此僧式子内親王ノ跡ヲトブラフベキ
為ニゴノ處ニ來タラバ。順縁ナルベレドモ今ハ其事
トナリ。コノ處ニ來タレドモ。思ハズナガラ。内親王
ノアトヲトブラハレヨトノ。女人ノ所望ナレバ。逆
縁ノ法トイヘリ
御菩提　ヲモオトブラヒアレト　名義集ニ。道
之極者稱曰菩提トアリ。此義ニテハ。謡ノ心ニ
少叶カタシ。大論ニハ。翻為佛道トアリ。翻トハ
天竺ノ語ヲ。唐土ノ語ニ。トリカヘテ云事也
偽　リノナキ世ナリケリ神無月。タガマコトヨリ時
雨ソメケン　古今ニカミナ月フリミフラズミ定ナキ。
時雨ゾ冬ノハジメナリケル　マコトニ神無月ニ
シグルヽハ。下ヽ。古今ニヨメルハ。イツハリニハ
アラズトナリ
ワタクシノ家ニトカヽレタリ

此ノ詞定家卿ノ時雨ヲキカンタメニ時雨ノ亭
ヲ作テラレタルワガ家ト云心也
他生ノ縁ハ朽モセヌ　他生トハ今ノ生ノ外ヲ云
ナリ未来ヘモカヽル辞ナレトモ今ハ先前生ヲ
サシテ他生トハ云也縁トハヨルト読他生
ノ契ニヨルト云心也
一樹ノ蔭ノ宿一河ノ流ヲ汲テタニ
木一本ノ下ニアヒヤドリヲシ河ニテスキノチ
カレシトモニ汲モ皆是他生ニテ前生ナランノ

機縁ナリト云義也
墓所ハカドコロ也
星霜旧積タルニ　是ハ年月ノ移タル事ヲ云
也一ツノ星トハ二十八宿トテ毎日ヲツカサ
ドル星アリ其星モウツリモテ来テ一年ノ
移ルハ程ナキ也サテコトレモウツリ明年モウツリ
来テ年ヲ重ルト云義也霜トハ一年ヲ一霜
トモリアツカフ也霜ノフル事一タビト云義也
宿音秀

後鳥羽院　人皇八十二代
式子内親王　後白河院皇女也
定家カツラ　テイカハツヅラト云カツラ也。此石ニカヽリケル故ノ名也。ムカシヨリアルカツラナルヲ
カモノイツキ　伊勢斎宮ノゴトク。賀茂ヘモ皇女タチ給也ソノ皇女ノ御座所ヲ申ス也
執心　此スエノ。妄執ト云所ニアリ
共ニ邪婬ノ妄執　邪婬トハサダマリタル。夫婦ノ中ニアラズシテヨコシマナル男女ノカタラヒヲナスヲイフ。又妄執ハ妄念執心也ミダリニ執着スルト云心也
シノブ山シノビテカヨフ道モガナ人ノ心ノオクモミルベク　信夫山　奥州ノ名所也
露ノ世ガタリ　ツトシタルト云心也
玉ノヲヨタエナバタエネナガラヘバシノブルコトノヨハリモゾスル　玉ノヲハイノチ也　式子内親王ノ御歌也
アハレ〳〵霜ヨリ霜ニクチハテヽ。世々ニフリニシ

山アヒノ神　霜ヨリ霜ニ久シク。カサチタル心也

山アヰノ袖　アヰニテソメタルニヤウヅクタル
ノヨシレ也山アヰニスレル竹ノフシトアリ。竹ノ
モンアラスリノハウヲ着シテヽフトアリ

ウキコヒセシトミソキセシ　伊勢物語ニ。戀せ
ジトミタラシ川ニセシミソギ。神ハウケズモ成ニケル哉

カモノイツキ　齋院ヲモ。イツキノ宮トヨメリ。日
本ノ詞也。齋宮ハ勿論也。伊勢ハ齋宮ト云。
賀茂ハ院ヲミヤト云フ

アダシ世　アダナル世ヲ觀念也

雲ノカヨヒヂタエハテヽヲトメノスガタシバシトヾ
ドメン　僧正遍昭五節ノ舞ヲミテノ歌ノ心也。
五節ノ根元ハ。本朝月令ニ。淨見原天皇吉
野ノ瀧ノ宮ニマシマシケル時。日ノ暮ガタニ。
琴ヲ彈ジテ。御心ヲスマサセ給ニケルニ。ムカヒ
ノ山ノ岫ヨリ。アヤシキ雲タチノボリケルヲ御
覽ジケレバ雲中ニ神女ノスガタアラハレテ。御
コトノシラベニアハセテカナデケリ。御門ハ見給

ニシカドモ。御前ニサフラフ人々。ツヰニシラザリケリ
其神女神ヲヒルガヘス事。五タビニヲヨビケレバ。
是ニヨリテ。五節トハ名付侍ル也。其時御門
御歌ヲヨミ給ヘリ　ヲトメトモヲトメサビスモ
カラ玉ヲ。タモトニマキテヲトメサビスモ　五人
ノ舞姫ヲ。ソノ後御覧アリ毎年十一月大嘗
會ニカキラズ
ツタモミヂ　蔦ハ紅葉スル物也
妄執ヲ数タクヘヤ　妄執トハ。善事ヲ執セ
ズノ恩愛夫婦ノ間ナトノ事ニノミ深ク執心
スル處ヲ。妄ガハシキ執心トハ云ヘリ。
クレハドリアヤシ　クレハドリアヤニコヒシク
アリシカバ　ニムラ山モコエズナリニキ
右ノ詞ニ云。クレハドリト云アヤヲ。ニムラツヾく
ミテ。ツカハストテヨメルトイヘリ。是ハ日本紀
ニ。應神天皇ノ御時。使ヲ呉國ヘツカハシテ。
アヤヲヲル女ヲ。モトメシ時。呉王四人ノ。アヤヲ
リヲワタセル其中ニ。クレハドリ。アナハドリト

イブダクミニアリ。サテクレハドリアヤトハツヾク
ル也。クレハトリハ。呉織アナハドリハ。穴織
トカケリ
松カセフケテ　夜ノ更トカセヲ吹トヲカケタリ
念ヒノ珠ノ數々ニ　コレハ。數珠ノ事也。瑜伽
念珠經ト云經アリ。數珠ツマグルトキ。一顆
ヾ々ニテ。佛ナドノ事ヲ念ヒ。珠勝也ト貴
ム故ニ。念ヒノ珠ト云ヘリ
夢カトヨヤミノウツヽノウツノ山。月ニゾタドル
ツタノ下道　スルガナル宇津ノ山ベノウツヽニ
モ。夢ニモ人ニアハヌナリケリ　伊勢物語ノ
歌ニテヨミ給ヘリ
松風蘿月ニ詞ヲカハレ翠帳紅閨ニ枕ヲナラベ
松風ノ聲ヲ聞ニモ木スヱニカヽレル。ツタ
ノヒマヨリ。モリクル月ヲミテモ。内親王定家
タガヒニ歌人ナレバ。歌ノヤリトリヲセラレタル
事ヲ。コトバヲカハスト云カ。翠帳紅閨トハ。翠
ノ帳。紅ノ閨ニ枕ヲナラベタリシ事ヲ云乎

朝ノ雲夕ノ雨ト　朝ニ作行雲暮ニ作行雨ト文
選ノ高唐賦ニアリ。巫山ト云所ニテ。楚ノ襄
王ノ神女ヲ夢ニミラレタレバ。神女歸ル時朝
ニハ雲トナリ。暮ニハ雨ト成テ。此所ヘ來ルベシト
約束ヲシタルト云事アリ。ソレヲコヽニトレリ
夢モ覺モ幻モ共ニ無常ノ世ト成テ　金剛
經ニ云。如夢幻泡影如露亦如電矣。是ラノ
譬ヘヲ以テ。浮世ノ無常ヲ敎タリ。無常トハ。ツ
ネニナキ事也。風前燈。水上沫ナドノ如ナル

ヲ云也
佛平等説如一味雨隨衆生性所受不同
法華ノ藥草喩品ノ文也。譬ノ意ハ。天ヨリ
降雨ハ。平等ニテ不同ナシ。然ニ。大地ニ生ズル
所ノ。千草万木大小其レナ多シ。大木ハ潤
ヲ多ク受ケ。小キ草ハ。一滴ノ潤ヲウク。是
雨ノ不同ナルニアラズ。草木大小ノ不同アリ
テ受ル所カハレリ。是ヲ佛法ニ合テ云時。佛
ノ覺ハ一味ノ雨ノゴトシ。二法ハナシ。然レドモ

受ル所ノ衆生ノ心々ト同アリ。此ノ時五戒十
善ヲ願テ。人間天上ニ生ト思者ニハ随テ小
乗ノ五戒十善戒ナドヲ教ヘ。或ハ又肉身ノ
生ヲウクルコトヲイヤト思テ。人間ナドニ生レ
サルヤウニト好ム者ニハ形ヲウケザル所ノ空ノ
法ト云事ヲ教ヘタリ。カヤウニツレ〴〵。思々
ノ意ニ随テ法ヲ受ルコト品々也ト譬ヘ
タル經文也。空ノ法トハ。此身死スル時。重テ身
ヲウケズ。心モ無ク成法ヲ示シ給ヲ。小乗ノ
空法トモ空理トモ云也

アタナミ　波ハサダメナキモノ也

斯若無間處ニ　夫婦恩愛妄執ノ輪廻ニ
ヨリテ。互ニハナレズ迷ニコレツメルコト。夜晝ヒマ
ナレト也

藥草喩品ヨナラ　上ニ唱ル所ノ佛平等ノ説ノ
文。法華經ノ藥草喩品ニテアルカ。此名ニナソ
ラヘテ。迷ノ毒ノ草モ覺ノ藥ノ草ト成ランコト。
有難ヤト云ヘル心也

中々ナレヤ此妙典　妙典トハ法華ノ事也。妙
ト云ヘルハ心アルハ申ニオヨハス。情ナキ草木
ヲモ皆一心ニ納テ是ヲ弔ヘバ漏事モナク。佛
ト一ツニ一味スルヲ妙トハ名タリ。典ハ經ト
云フ心也。然レハ妙經ト云事也
佛道ナラセタマフベシ　佛道ヲ成スルコトゾ。佛ニナル事ゾ
タヘナルノリノコヽロ　妙法心トハ天台ハ心ヲ名為妙
トイヘリ心ハアルカトスレバ體ナクナキカト
スレバ又有無不可思度トイヘリ。是ヲタヘナル
ノリノコヽロト云フ
無二無三一味ノ御法ノ雨ノ滴　法華ニ云。
無二亦無三トイヘリ。此意ハ。法華ヨリ外ノ
經ノ中ニハ二三ノ法ヲマジヘテ説ケリ。法華ハ
ソノ二ツ三ツヲ拂捨テ。佛ニナル覺ノ一法バカリ
ヲ説給ヘルヲ。無二無三トモ云。或ハ唯一佛乘
トモ説タリ。是ヲ一味ノ御法トハ云也
草木國土悉皆成佛記得　此事最法華ノ
規模ニコヽニ有事也。心有物ノ事ハ沙汰ニ及

バス。一色一香トモ。目ニモ見エヌ句空ニ散
ル塵埃マデモ。佛ノ性ヲツナヘタレバ。法華ノ
縁ニヒカレテ。悉皆成佛スルト云事ヲ明セリ。
成佛ノ記ト云記ノ字ハ。シルシトヨム也。世間
ニモ物ノシルシニ符ヲ出スガ如ク。佛ヨリ一切
衆生ノ成佛并ニ草木マデノ成佛ノワリフ
ヲ定給フ事ヲ記トハ云也
足弱車ノ出ル火宅ニ足弱車トハ。天竺大唐ニ
モ。羊車鹿車トテ。羊ニ車ヲカケ。鹿ニ車ヲカ

クル事アリサレドモ。牛ノ如クニ重物ヲモ載ズ。
取分羊ハ足弱然レバ此車ヲ足弱車ト云ヘ
ルナルベシ。火宅ヲ出ルトハ。今マノ火宅ト云ハ欲界。
色界。無色界ト云三界ノアリサマハ。万ツノ苦ニ
セメラレ。少モ樂ノ無所ナレバ。焼ル宅ニ譬タ
リ。或ハ煩惱ノ炎或ハ嗔恚ノ焔ナドト云テ。衆生
ノ悪心ヲバ悉ク火ニタトヘタリ。然バ此所ヲ火
宅ト云ヘルモ理也。此火宅ヲ出ニハ。佛ノ敎ヲ
肝要也。去程ニ佛。或ハ世間ノ有爲無常ヲ

示レ。一切執著ノ心ヲハナレレバ。此身ヲ二度
ウケザル處ヲ火宅ヲ出ルトハ云也
アレヨハクルヽ　ワノヨハキ也
報恩ニ人ノ恩ヲカウムツテ其恩ヲ報ズル義ゾ
オモハユ　ハヅカシキ也
カツラノマユズミ　不知候
カツラキノ神スガタ　カツラキノ神ヲバ一言
主ノ神ト申也。カツラト云エンニヨリテ。コウ神ヲ
イヒ出シタル乎

山姥

ヨキヒカリ　善光寺ト云字ヲ。クンジテノヨ
メハ。善光寺也
遊君　白拍子ノ事也。アソビビト也
異名　イツモノ名ノ外ニ。別ニツク名ヲ異
名ト云ゾ
サヽ浪や志賀　小波也志賀ノ浦ニサヾ浪ト
ヨミ來レリ　近江名所也
アラチ山　越前名所。敦賀郡有乳山

ウチタノム人ノ心ノアラチ山コレヂクヤシキ旅ニモアル哉。心ノアラキトツヾケタル也

明也

玉江ノ橋　越前ノ名所也　新古今ニ
夏カリノ蘆ノカリチヅ哀ナル。玉江ノ月ノ明ガタノ空　俊成卿

コレヂ　越前越中。越後ヲ云也

越路

シホコシノアタカノ松　海コシトモ云心也。ウミノムカヒニ。アタカノ松見エタル體也

弥陀ノ劔　念佛ヲツルギニ譬言。イカヤウナル極重ノ悪人也トモ此念佛ヲ申セバ。即利ノ劔トナッテ。モロ〳〵ノ罪科ヲキルナリ。唐ノ善導大師ハ利劔即是弥陀號ト云

トナミ山　越中ノ名所　礪波山

雲路ウナカスミコシヂ　促雲ノ行ヲ云。水ノナガルヽナト云カゴトシ。ミコシヂハ。越前越中。越後。三箇國ヲ云也

境川　名所ニ不見。國ノサカヒノ川ノ事乎

アゲロ。名所ニ不見ヘ
己身ノ弥陀唯心ノ浄土　唯心ノ浄土トハ
我等カ心則浄土也。己身ノ弥陀トハ。我等
カ姿則弥陀ナリ。此ノ二ツハ諸宗一同ノトコロ也。
故ニ。或ハ即身即仏ト云ヒ。或ハ。娑婆即
寂光ト云。全同ジサレドゴロナリ。此辺ニテハ。
自他宗ノ差別ナシ。但浄土宗ノ心ニテハ。
唯心ノ浄土。己身ノ弥陀ト申コトハ。偏ニ弥
陀如来成等正覚ノサトリノ眼ヨリ見
事也。迷ノ凡夫ノ上ヘニテノハ。カヤウノサタハ无
キ事也。依之迷ノ者ノ為ニ。十万億ニ。浄
土ヲカマヘ。其浄土ニ弥陀マシ〱テ。迷ノ衆
生ヲ。ミチビキ給フ也。故ニ極楽ヘウマルレバ。浄
土ノ徳儀ニテ忽ニヲカキ覚ヲヒラク也。ソノ
トキ覚ノ眼ヒラケテ見レバ。唯心ノ浄土己身
ノ弥陀ト云覚ニ始テ至也。然ハ不審ノ心
ハ迷ノ衆生ノ前ニテハ十万億ニ浄土アリ。
覚ノ者ノ前ニテハ。十万億ノ浄土ハ只仮

説ニ〆無事乎。如何答曰。弥陀ノ覺ノ内ノ
證ハ。十方ニアマネク通〆。隔ツル所ナシ。此ノ
隔テナキ覺ノ上ニ。淨土モ弥陀モアラハレ
給フ也。然レバ十方億ノ淨土。悟ノ前ニテハ
モ眞實ニ有コト也。假令弥陀悟ノ内證ハ
圓鏡ノ如ク。淨土ハ鏡ノ内ニ浮フ影ノ如シ。
鏡眞實ナレハ。影モ又眞實也。ヒカル鏡
ノ眞實ナレ共。影ハ偽ノモノト拂ノクルハ
僻事也。其ノ如ク覺ノ智恵ニ淺深アリ

アサキハ影ヲハラヒ。フカキハ不レ拂也譬ヘハ
ノ。覺ノ淺キ人ハ。唯心己身ノ。トコロニノ
ミトヾマツテノ。十方億ノ淨土ヲバ假ト説トハ
ラフ也。深覺ノ眼ニテハ。唯心己身ノ上ニ現
スル淨土モ眞實ニ〆常住ノ所ト申ス也。
故ニ弥陀サトリノ内證ハ。鏡ノ體ニ譬ヘ。覺
ノ上ノ淨土ヲバ。影ニタトフル也
西方ノ淨土ハ。十方億　經ニハ。遠ト説キ給ヘドモ。
唱ル一念ニ至ル淨土ナリ。故ニ觀經ニ。未レ擧

頭頂即得往生ト説リ。未挙頭頂上ハ。佛ヲ
礼スル間ニ。即往生ヲ得ル也
弥陀来迎ノ直路　十九ノ願ニ依テ。弥陀聖
衆ト共ニ来現シ。念佛ノ行人ヲ迎接シテ。
西方ノ直路ニ至ル也
修行　修シ行ズル事也。身ニオコナヒヲスル事ゾ
ヒトノ思出　居中ノ事也。田舎ニテノ思出也
足引ノ山　足引ハ。山トイフ枕詞也
鬼女山姥　山姥ヲ云也。鬼ト云ハ。バケモノヽ

ウバト云心也
コトノハグサ　詞ノ種ト云心也
世情万徳ノ妙花ヲ開　世ノ人ノ風情。万
ツナテ。其徳ノアルハ。妙法ノ蓮華ノヒラクル
如シト云心也
此ノ一曲　一フシノ曲ゾ
舞歌音楽　舞ウタヒ。様々ノ妙音ヲツクシ
テ楽ヲ奏スル義ゾ
妙音ノ聲佛事ヲモナシタマハヽ　唐ノ天台ノ

云ク。音聲為佛事トイヘリ釋迦佛ノ聲ヲ以テ
説法ス。此ヨリコノカタ唐土日本是ヲ皆聲ニテ
ナシ來ルユヘナリ

輪廻ヲノガレ歸性ノ善處ニイタラザラン
善事ヲシナシ輪廻ヲノガレ。善處ニイタルヘシト
云心也。輪廻トハ。車ノ輪ノ廻トキ。上ニムカフ
ヲバ天ニ生ルニタトヘ。下ニナルヲハ。地獄ニ入ニタ
トフル義也。今此輪廻ヲノガル丶也。天トハ。此ノ世
界ノ上ニアリ。地獄トハ。此地ノ下タニコレアリ

善處トハ。佛ノ淨土ノ事也

ヲ山　夕ノ山也

霊鬼　韻會ニ。陰氣曰霊陽氣曰精トアリ。
霊モ精モ。二字トモニ。タマシヒ也。陰ハ女。陽ハ
男ナレハ。山姫ハ。鬼女ナル故ニ霊鬼ト云ト見
タリ

妄執　妄念ニヒカレテ。執着スルヲ云。
執トハ云。ミダリニ物ゴトニ。トリツキテ。ハナレ
ヌ心也

トカク辞シナハ　辞退ノ義也。斟酌スル義也
コヽハ辞退セザルヲ云ゾ
シレバサセ給ヘ　不知
月ノ夜ゴエ　月ニウタフ聲也
カゲロフ夕月ノ　クモル心也
ウツリ舞　本謡不知。ウツリ〳〵ハリテ舞事乎
手先遮　三月三日曲水詩　牽流遮過手
先遮ト。朗詠ノ上巻ニアリ。曲水トハ。曲水
ニ杯ヲウカベ。我前ヘ来ラザル間ニ詩ヲ作者
ヒ。詩ノ心ハ。詩ハイマダ出来ザル間ニ。杯ガヘヤク
流ホドニ。先手ヲサシ出テ杯ヲ取ゾ
時ノ調子　吟ジシラブル事也
深谷　人ノ往来モナキホドフカキ谷也
寒林　寒林ニ骨ヲ打霊鬼泣々前生ノ業ヲ恨
寒林ト云ハ。死人ヲ葬スル所也。此方ノ鳥邊
野ナドノ如キノ在所ト見エタリ。天竺ニハ是ヲ
尸陀林ト云。唐ニハ是ヲ寒林ト云也。此林多ク
シゲリタル故ニ。極熱ノ時分ニモ。此林ノ中ニ

入ヌレハ。イカニモ涼ク成ル故ニ。寒林トハ名ツケタリ。此ノ事。西域記等ニ見エタリ。今ノ云ツヽケタル辞ノ意ハ。彼廟所ノ古塚ニ。白骨ノ散乱セルヲ。悪神来テ。鉄杖ヲ以テ砕ク意如何トイヘバ。我今悪鬼ト成テ。昼夜苦ヲ受ル事ハ。先生ノ身アリシ時。慳貪放逸ニシテ。悪事ノミヲ作レリ。是ニヨリテ我今。浅間敷身ヲ受タリ。今ノ此ノ白骨ハ。我前生ノ肉身ノ残也トテ。打砕ケル歟ト見エタリ。次ニ林野ニ華ヲ供ズル天人ハ。倍幾生ノ

善ヲ喜ト云意ハ光ヲ放テル荘厳ノ天人。人間ニ類ナキ天ノ妙ナル花ヲ持。穢葬所ノ野ニ来リ。白骨ニ向テ花ヲ供ジ礼ヲ作セリ。仏弟子アリテ是ヲ問。天人ノ云。我天ニ生レ楽ヲ極メ寿命長遠ニシテ。飛行自在ナル事。前生肉身ノ人間ノ時。戒法ヲ持慈悲アリシニ依レリ。コヽヲ以テ我前生ノ白骨ヲ供養シ礼スルナリトイヘリ。此両條ハ共ニ

阿育王辟言喩經并分別功德論ノ二ノ巻ニ
委細ニ見エタリ。此中ニ。幾生トイヘルハ。生々
ヲ重タルコトヲ指辞也

善悪不二　善悪ノ二道ハメヅラシカラヌ子ドモ
各別ノ理也。先儒道ニハ。勧善懲悪トテ。
善者ヲバスヽメ。悪者ヲバ懲也。孔子モ。郷人
之善者好之其不善者悪之トイヘレタソ。
是ホドニ各別ナル道ヲ。何トテ。善悪不二トハ
云ゾナレバ。善悪ノ二道ハ。皆修行地ノ見処
也。悪ニ對スレバ。善ト云道モアレドモ。是ヲ六
道ノウチノ三善三悪ト見タツレバ。善悪共ニ
地獄ノ迷倒也。善悪不二ノ道理ヲヨク悟
了シタル上カラハ

何ヲカ恨何ヲカ喜バンヤ　恨ト云コトモ。悦ト云
コトモ。有ベカラズト云義也

万箇目前ノ境界　万事カ目前ノ境界ニ
顯タリノ心ソ

懸河渺々トシテ岩峨々タリ　懸河ト云

ハ。山岩ノ上ヨリ落ル河ノ渺々ト。廣フツヾキタル
流也。岩ハソビエタルヤウナソ
山復山何工削成青月岩之形水復水誰家染
出碧潭之色　朗詠ニアリ。言ハ。山復山ニ
青岩ノ色々ニ見事ニ致景ノアルハ。如何
ナル大エヤ、細工者ノ作出シタ事ゾト云心ゾ。
水復水誰家染出碧潭之色。言ハ水復
水ト云ハ水ノ多方ゾ。深キ潭ノ水青々トシタル

色ヲウツシテ出タハ。誰人ノ家カラ染出タゾ
ト云心ゾ。碧潭ハ。ソコヘ深潭ノ水ハ。藍ノ染出
一シタヤウナト云心ソ。
ソノサミケシタル　怔字也本ハ性ナラヌ體也
ホ　出ソメシ　顯ル、事也。薄ナドノ。ホニ出テ
ト云カコトシ
ムバ玉ノ　烏羽玉ハ。夜ト云枕詞也
髪ハオトロノ雪　荊棘也。白髪ノ亂シタル體也
サニヌリノ軒ノ瓦ノ鬼　沙丹塗。丹ニテ塗タル
事ナルベシ

鬼一口ノ雨ノ夜ニカミナリサハギ　伊勢物語
テ神サヘイミジウナリ。雨モイタウフリケ
レバ。アバラナルクラニ女ヲバオクニヲシイレ
テ。オトコユミヤナグヒヲオヒテ。トグチニヲリ
ハヤ夜モ明ナントオモヒツヽ。井タリケルニヲ
ニハヤ一クチニクヒテケリ。此段ニテ書リ。カ
ミトハ。カミナリノ事也
白玉カナニゾト人ノトヒシトキ。露トコタヘテキエナ
マシ物ヲ　伊勢物語ノ歌也。二条ノ后ノ段ノ
露ヲナニゾト問シ時。露トテハカナキ物ゾ。ト
コタヘテ消マシカバ。如此ノオモヒヘセジト後
悔也。白玉カトイヒテナニゾトニテ首尾也。
新古今ニハ。哀傷ノ部ニ入ル也。眞實ノ
鬼ノクヒレニナレテ也。業平ノヨメル也
春ノ夜ノ一時ヲ千金ニカヘジトハ花ニ清香月
ニ影　花有清香月有陰春宵一刻直
千金ト。東坡ガ詩也。花ニ匂アリ。月ニ陰ア
リテ。面白ホドニ。春ノ夜ノ一刻ヲバ千両

ノ金ニモカヘガタキト云義也。四季ノ中ニハ。春ノ夜ニスグレタル面白サハナイゾ。故ニ千金ト云ゾ

一聲ノ山鳥　朗詠上巻ニ一聲山鳥曙雲外ドアリ。是ハ山鳥ハ。杜鵑ヲ云也アケボノノ雲ノ上ニ高聞ル義也

鼓ハ瀧浪　瀧ノ音鼓ノ如ト也

袖ハ白妙　袖ノ。シロク。ウツクシキ事也

雪ニシメクノフスコノ花ノ　雪ノ如ク花ノ散體也

ナニハノコトカ法ナラヌ　何事モ皆佛法也

山ドイツハチリヒヂヨリヲコツテ　古今カナ序ニタカキ山モ。フモトノチリヒヂヨリナリテアマ雲タナビクマデオヒノボルガゴトクニトアリ。塵カツモツテ山ト成ト云事也

千疊ノ峯　千モタヽミタルヤウニ見ユル山峯也。三體詩ニ。峭壁攢峯千万重トアリ。峯ナ千モ万モ重〻ニソビエタル事也

一洞ムナシキ溪ノ聲　一洞空溪聲也。云心ハ

空キハ閑ナル義也空ノ字。ウツホトモ讀リ
中ニ何モナキ洞ヲ云
無聲音　聲ノナキ處ニ。音ノアルヲ云也。空
谷ノウチニハ。何ノ聲トモナク。シン〳〵ト閑
ナル中ニ。物ノ鳴ヤウナル響アリテ。ソトレ
タルレハブキ。跫ニイタルミテハヤ響キワ
タル物也。是ヲ無聲音ト云也
聲ニ響音カヌ谷モガナ　前ニ云。無聲音ヲ聞
モ。物サヘガレケレバ。カヤウノ響モナキ程ニ。レ
ツカナル谷モガナト願タル也
山高シテ海近ク溪深シテ水遠　山ト海トノ
間ハ遠ケレドモ。山ガ高ケレバ。海ガ近ミユル物ノ
也又溪ガ深ケレバ。水ノ聲ハ聞レドモ溪ノ底
ニアル故ニ。水ノアル處ハ遠キ也
前六海水ジヤウ〳〵トシテ　海水ハ。ウミノミヅ
也。瀼〻ハ。水ノ流ルヽ皃也
月眞如ノ光ヲ揭ケ　眞如トハ。自性眞實ノ
體ヲサシテ云也。是ヲ如〻ノ體トモ云也。

此真如ノ體ハ。明德アルホドニ。月ニ譬ル也。
サテ真如ノ上ニモ。隨緣真如ト。不變真如
ト云事アリ。月ヲ以テ譬言ベキナラバ。濁水。
濘。淤泥等ニ影ヲウツスヲ隨緣ト云也。ソ
レソレノ緣ニ隨トイヘドモ。根本清淨ノ光ハ
ケガレヌ處ヲ隨緣真如ト云。サテ不變真如トハ。常
住不變ノ佛性ヲ云也是ヲ月ニ譬言ヘテイハヾ。一圓
相ノ月ノ光一點ノ塵埃モナキ所ヲ。不變真
如ト云也。此隨緣不變ノ理ハ。自己分上ノ

上ヘニモアリ。一旦浮世ノ塵ニマジハレドモ。ソレ
ニソマラヌハ隨緣真如也。山河大地森羅万
象ヲソノマヽシキナガラ。サレツメテ。一枚ノ真
如ト見タル見地カラハ。今日ノ色相ハ上ヲモ
直ニ不變真如ノ體ト見ル也。真如ノ月
トハ。是ヲ云也。掲トハ。真如ノ月ヲモ我手ノ
ウチニ掲テ。燈ヲ挑タル如ク。自由三昧ニア
ツカフト云義也。柱杖頭掲千日月ナト云
祖語モアル也

後六嶺松魏々トシテ　後ノ山六。峯ノ
松高クソビエテ見ユルノ義也。魏々ハ高キ也
ト説文ニアリ
風常楽夢ヲヤブル　風破常楽夢トハ。
我身ハ死スレバ無モノヲ。イツモ有モノト思ハ。
逆ニナル故ニ。名常顛倒。又世間ノ愛着
ハ皆苦ナルヲ。サカサニ。楽ト念フヲ。楽顛
倒ト云也。今ノ常楽ノ夢ヲハ。偏ニ佛教風ヲ
ヤブラント云意也

遠近ノクツキモ。シラヌ山中ニオボツカナクモヨ
ブコ鳥哉　古今ノ口傳也
伐木丁々トシテ山更幽ナリ　杜子美カ詩ノ第
一ノ巻ニアリ。木ヲキル聲タウ〳〵トキコユル也
山ノ幽ナル體也
法性峯ソビエテハ上求菩提ヲアラハシ
法性トハ。諸法ノ性ト云事ヲ上略ノ。法性ト云
性者天台云性謂據内自分不改矣。性ニ
善悪具スレドモ。色相ニアラハレザル時也。是ヲ

峯ニ譬也上求菩提トハ今ノ云ーコロノ法性
ノ峯ヲ求義也
無明谷フカキヨソホヒハ下化衆生ヲ表シテコン
リンザイニヲヨベリ 無明ノ品數多ケレドモ愚
癡ト云也谷深處ヲ闇ニ譬也癡無明ト
テ無明トハクロカナル義也今此愚癡者ヲ
化度ノ佛ニテス義ヲ下化衆生ト云也
一 金輪際者此世界ハ風輪ノ上ニ水輪アリ
其上ニ金輪アリ今此金輪際ノキハノ事也

シヤウジヨモシラズヤドモナシ
生處不知無宿
一 トハ經ニハ但見其終不見其始矣菩薩
サヘ生所ヲシラズ況ヤ愚女知ベカラズト云
心也常ノ人ハ我生所ノ事ト思ヘドモ不然
本來湛々大海無生死波何トヤシツラ
シテ波起ル所ナレバ不知其生處ト云也無
宿トハ法華經ニハ諸法空為座矣本來ヤ
トナキ物也
ジレジヤウヲヘンゲンシテ一念ケシヤウノキチヨトナツテ

モクゼン、自性變化ヿ念化生ノ鬼女ト成テノトハ。
録云。眞如本覺不レ守自性但隨縁轉矣。
眞如本來不レ守自性故轉ジテ鬼女ト成也。
目前トハ目ノ前也
シヤシヤウ一ニヨトミル時ハ　邪正一如トハ。
天台云。如者空義矣。邪正トモニ。空ナル
所ノ一如ト云也
色即是空ソノ一ニハ　色者色形也。大論云
總今所四大圍於虚空名矣。四大者。地水火風
ナルカ故。本來更無也。猶如沫聚無實體所
一也。色即是空ト云此意也
佛法アレバ世法アリ　佛法ハ。眞諦世法ハ俗
諦ナリ。今此二ハ。源一法ナル故ニ。佛法アレ
ハ世法有ト云也
ボンナウアレバボタイアリ　有煩惱有菩提トハ。
煩惱ノ數多ケレドモ。先百八煩惱ト者。見
事ニ迷數八十八也。思ニ迷二十アリ。是二十
纏ヲ加テ。百八煩惱ト云也。菩提ハ。天竺ノ

諳。変ニハ佛道ヲ知ル智恵ノ事也
ホトケアレバシユジヤウアリ　有佛有衆生トハ
佛トハ天竺ノ語也。具ニハ云佛陀。此ニハ名ク
智者ト。一切衆生有佛性ト云ハ。有心故也。
有心知是非事。佛性ヲ備ル義也。釋摩
訶衍論ノ中ニ。衆生トハ有生物也ト云
衆生アレハ山婆モアリ　山婆モ有生物ナレハ
衆生ナリ。衆生アレハ。山婆モアルナリ法華ニ
云。皆是我有矣。天台云。以心有一切皆
有矣。心ニ有ト思ヘハ。一切有也
柳緑花紅　柳ハ。青ク。花ハ紅ニシテ。自然ノ
理ゾ
山カツノ　山人ノ賤者ヲ云フ　山賤ト書
樵路ニカヨフ　キコリノ。路ニ往来ヲスルヲ云也
イヲハタヲタツル　五百機手。ユフハタト云フ説モア
リ　夕機手
紡績ノ宿　紡ハ。絲ヲツムグ義也。注ニ。綰絲也
トアリ。績トハ。絲ヲウム義也。注ニ續也ト

アリ。韻府ニモ亦有此事也
世ヲウツセミノカラ衣　蝉ノモヌケヲ。空蝉ト云。
世ノ。ハカナキ事ニ云也
ウチノスサム　砧ヲウチヤミタル事也
千聲万聲ノ　砧ニ聲　朗詠ノ上巻ノ。擣衣
詩云。千聲万聲無止時トハ。砧ノ聲終夜
レテウツノ音也
レテウツ　レゲウノ。ウツ心也
一樹陰一河流皆是他生縁　一樹ノ下ニ。初
タル人トイテ逢。一河ノ水ヲ共ニクム者。皆他
生ノ縁ニナルゾ。他生トハ。前生ノ事也
キヤウゲンキギヨノミチスグニサンブツシヨウノインヅカレ
以狂言綺語之誤為讃佛之因ト。白
樂天ガ詩也。言ハ。狂言綺語トハ。狂レタル
語ゾ。ワケモナキ事ト云コト也。綺語トハ。詞ニ
花ヲサカセテ云コト。イロヘテ云也。道直ニト
云ハ。狂言綺語ノ事モ即一佛乗ヲ褒讃
スル直道ヂヤト云事也。是則煩悩即菩提

人心也

夕顔

九州ハ築紫九箇國ヲ云也

松浦ハコサキ松浦ハ。肥前ノ名所箱崎ハ。筑前ノ名所。松浦ハ廣繼ヲ神ニイハヒ給シ社也。箱崎ハ。八幡同體神功皇后ナリ。

松浦ヤ箱崎ト云意也。處ヘダヽレル也

名ヲタカキ男山ハ八幡山ノ事也

洛陽ノ名所舊跡都ノ事也。名所ハナドコロ也。舊跡フルキアトヲ云也

佛閣　佛寺ニハ。樓門。佛殿ナドニモ。閣ヲアゲテ又佛ヲ安置スルヲ佛閣ト云。閣トハニカイヅクリノ事也

雲林　雲林院トカイテ。ウヂイトヨム紫野ノキハニアリ

雲ノ林ノ夕日影花ムラサキノ野ヲ分テ

雲林院寺也。紫野ノ門前也。花ムラサキノ野ハ。紫野ノ事ヲ花トイヒカケタリ

賀茂ノ御ヤシロ　雲林院。賀茂ノ糺

賀茂ノウチノ名所也

アリハラノ月ヤアラヌト　五條アタリ　伊勢物語ノ詞

昔ヒンガシノ五條ニオホキサイノ宮オハシマシケル西ノタイニスム人アリケリ。ソレヲホイニハアラデ。心ザシフカヽリケル人ユキトブラヒケルヲ。ム月ノ十日バカリノホドニ。ホカニカクレニケリ。アリ所ハキケド。人ノ行カヨフベキ所ニモアラザリケレバ。ナヲウシトオモヒツヽナンアリケル。又ノ年ノム月ニ。梅ノ

花サカリニテ。コゾヲコヒテイキテ。タチテニ井
テ〻見レド。コゾニヽルベクモアラズ。ウチナキ
テ。アバラナル。イタジキニ。月ノカタブクマデ
フセリテ。コゾヲ思出テヨメル也　月ヤアラヌ
春ヤ昔ノ春ナラヌ。我身ヒトツハモトノ身
ニシテトヨミテ。夜ノホノ〴〵ト明ルニ。ナク
〳〵カヘリニケリ　月モ昔ノ月。春モ昔ノ
春ナカラ。去年ニカハリタルヤウナルハ。二條ノ
后ノオハシマサヌ故ト也。又我身本ノ身
ニオボエヌトイヘルモオナジ心也。月モ春モ

我身モ二ツナカラ。皆モトノ物ナレドモ。后ノオ
ハシマサヌ故。カハリタルト思フ心計ニテ。ヨメ
ル歌ナルベシ
アノヤヅマヨリ　屋妻歟。家ノ端ナドノ心歟。
又四阿ヨリトイヘルヲ。書アヤマレル歟。東
屋ハ。四方ヘフキ出シタル家ヲイヘリ
山ノハノ心モシラデ行月ハウハノ空ニテ影ヤタエ
ナン　六條河原院ニテ。夕顔上ノヨメル歌也

夕顔ノ上トイヘルハ。夕ガホトイフ花ヲ歌ニ
ヨメル故也
巫山ノ雲ハ忽ニ陽臺之下ニキエヤスク
巫山ノ神女ガ。陽臺ニテ。襄王ト夢ニ會合スル
ゾ。神女ミヅカライフ事ハ。妾ハ巫山之女陽
臺之下ニ朝ニハ為行雲暮ニハ為行雨ト云ゾ。雲
ハアダナレバ。キエヤスキト云ヘルナリ
湘江ノ雨ハシバ〱モ楚畔之竹ヲソムルトカヤ
堯ノ女娥皇ト。女英ト。舜ヲシタヒテ。楚國
ノ畔ヲサマヨフテ。湘江ノ邊ニテ。舜ノ崩御ト
云テ。御死ニアツテ。九疑ト云所ニ葬ヲ。戀シ
タヒテ。泣ケル涙。楚畔ノ竹ヲ染テ。今ニ斑
竹アルゾ。斑ナル涙竹ニカヽリテマダラニナルゾ
ナニガシノ院　ソンチヤウソノ院ト云心也
六條河原院ヲサシテイヒタル也　源氏之
詞カロラカニ打ノセ給ヘレバ右近ゾノリケルソノ
ワタリ近キナニガシノ院ニオハシツキテト
アリ河原院源融ノ住給シ處也

執心　死後マデノコル妄心ヲ云。マヨヒノ心也

レンニヨノ月　真如月者。真トハ。真實ニシテ虚妄ナキ義也。如トハ。如常ニシテ變易ナキ也。大經ニ云。月ノ性常圓實無増減矣。月ハ。マコトニシテ常ニアキラカナル故ニ。真如ノ月ト云也

融公　左大臣従一位。嵯峨天皇第十二ノ皇子也

ソノヨヲヘダテヽヒカルキミ　ヒカル君。源氏ノ君ノ事ナリ。ヒカル君ノ名ハ高麗人ノホメテ付タル名也

河原院　六條坊門ノ南万里小路ノ東八町ト云　云融大臣家後ニ寛平法皇ノ御所也。東六條ト申ス。アヒダ。トウロト云ト三條稱名院右府被申也　云云

ブンゴノ國　玉カヅラノユカリトモ　玉カヅラノ君ハ夕カホノ上ノハラ也。チヾレノオトヾノ中將ノ時ノ御ムスメ也。豊後守ト云モノ。従肥前國。玉カヅラヲ御伴シテ。京ヘノボリシ也

夕顔ノ露キエ給ヒシ　源氏　末ツムノ巻ノクチニ。
オモヘドモナヲアカザリシ夕ガホノ露ニヲクレ
シトアリ　玉カツラノ巻ノ詞ニ。トシ月ヘ
ダヽリヌレド。アカザリシ夕顔ヲ露ワスレ給
ハズトアリ。ソノ詞ニテカケル乎。露キエトハ。
露ノゴトクハカナク夕顔ノ上ヘナク成給ヒシ也
詠　ユウエンヲモトヽシテ　幽艶此ノ字乎。カスカニ
ミヤビ　カナリト云フ事也
菩提心　菩提者。菩提名道コヽロハ。無上菩
提ヲ誓願證セントオモフコトナリ
六條ノミヤス所。　源氏　夕顔巻ノ詞ハ　六條ワタリノ
御忍ビアリキノ比。ウチヨリマカデ給フ中ヤド
リニ大貳ノメノト。イタクワヅラヒテアマニナ
リニケル。トフラハントテ。五條ナル家タヅ子テ
オハシタリ
物ノアヤメ　源氏ノ詞　ゲニイトコイエガチニ
ムツカシゲナルワタリノ。コノモカノモ。アヤシウ
打ヨロボヒテム子〳〵シカラヌ軒ノツマナト

ニハヒテツハレタルヲ。ロオシレノ花ノチギリヤ。
ヿフサオリテマイレトノ給ヘバ　皆詞也　物ノ
アヤメハウツクシキセンノニダレタルアヤハ
ノ色ヽモワカレヌ也。△子ヽシカラヌハスグ
ニモナキ心也
シラ露ノナサケヲキケルコトノ葉ノ　夕顔巻詞ハ
惟光ニシソクメシテアリツル扇御覧ズ。
大モテナサレタル　ウツリ香イトシミフカウナツ
カシウテ　ヲカシウスサビ書タリ　夕顔上ノ歌
心アテニソレカトゾミルシラ露ノ光ソヘタル夕
顔ノ花　ナサケヲキケルハ此歌ノ心也
ヒヲムシノ　蜉蝣　朝ニ生ジ夕ニ死スル蟲也
郭璞詩ニ備聞蜉蝣輩知亀鶴年
風ニマダヽク燈　チロヽトシテ消ガタニナルシヲ云リ
烏羽玉ノヤミノウツヽハ人モナク
ムバ玉ハ夕ヽクラキ夜ト云枕詞也枕詞ト
ハヨルノヤミノナドイハンタメニムバ玉ト詞
ナツバキカラヲヨクセンタメニイヘリヒクイル

ナトイハントテハ。アツサ弓トイヘルガゴトシ。
枕コトバニハ。心ツケヌヨレトイヒトラハレタリ
イカニセントカハオモヒ川ウタカタ人ハイキヽエテ
オモヒ川タエス流ル、水ノアハノ。ウタカタ人ニ
アハテ消メヤ　ウタカタ人ニハ。シバシモ人ニ
アハテキエン物カハト云ヽ心也。ウタカタトハ。
水ノアハヲモイヘリ
ホツケドクジュノコエタエズトブラフノリ。法華
聲。讀誦此經典。我爾時為現清淨光明身
矣讀誦ノ窓ノイヘニハ。ホトケ光明ヲハナチ。
普賢ノ白象ヲ拜スト見タリ。是ニヨリテトフ
ラフ法ゾマコトナリト云ヘリ　女ハ五障ノ罪深
ヲンナハ五障ノツミフカキ
者。法華經ニ云。一者不得作梵天王。二者帝
釋。三者魔王。四者轉輪聖王。五者佛身矣
女ニ五ノサハリアリテ。ツミフカキナリ
キクモケウトキモノヽケノ。六條御息所ノ生

リヤウニテ。夕顔上ヘナク成給シ也。氣疎ト書也
鳥ノカラ聲　カラヒタル聲也。夕顔巻ノ詞　河原
院ニテ。松ノヒヾキ。木ブカク聞エテ氣色アル
鳥ノカラ聲ニ鳴タルモ。フクロウハコレニヤトオボユ
ニゴリ江
水ノニゴリタル江也　八雲御抄ニモアリ
ウバソクカヲコナフ道ヲシルベニテ。コン世モ深キ契
夕ガフナ源氏ノ君夕顔ノ上ヘノ歌也
五條夕顔上ノ宿ノ隣ノ荒人ノヲコナフ聲
ヌキヽ[illegible]テ也。ウハソクハ。俗ナカラ髪ヲモソ
ラズ。山臥ノ體也。来世ヲ子ガフコトク。夕顔
ノ上ト源氏トノ中ハ来世マデカハラジト也
ウハソク　優婆塞者。カミヲソラズシテノコナレトモ。
ホトケノ四部ノ弟子ノ中ヘイルナリ
オソウノイマノ弟ヲソウケ　御僧ノ今ノ弟ヲ請
者僧ハ。天竺ノ語爰ニハ和合トモ云　無諍
トモ云。ソノ心。自他和合シテアラソヒナキ機
ノトフラヒヲウクル也

ヱミノマユヒラクル　源氏夕顔ノ巻詞。シロキ花ゾ
ヲノレヒトリヱミノマユヒラケタルヲチカタ人ニ
物申ストヒトリゴチ給フヲ夕顔ノツホミ蘂ノ
眉ニ似タル故ニイヘリ。花ノ咲タル體ワラヒ
タルカホバセニ似タルヲイヘリ　花笑ハ花咲也
ヒラクルホツケノハナブサ　開法華ノ英ハ若法華經
云。十方佛土中唯有一乘法矣。一花開天
下春。一葉落万山紅。妙法ノ雨ソヽクル木
ストコロノハナフサナリ

ヘンジヤウナンシノ子ガヒノイヽハニ　變成男子ノ
願ノイヽコトハ。法華ノ龍女成佛シ。變成男
子ト說。コレヲ大經ニハ。具丈夫相義矣。依之
提婆品ニ。變成男子具菩薩行矣
ゲダツノコロモノソデ　解脫衣袖者法身般若
解脫ノ三德ハ佛ナリ。中ニモ解脫トハ人々
三ナ業ニシハラレテ。不自在ナルヲ。今解脫コ
トヲ。衣ノ袖ニアラハス也
音羽山　山城國ノ名所也。清水山ヲモ云。皆

近邊也
シノヽメ　明方也篠目ト書。夜ノシラフ時分也
アケグレ　明闇アケ方ニシバシクラクナルヲ云也

松浦　肥前國也。欽明天皇ノ御宇。大伴
ノ狹手彦ト云シ。高麗ヘツカハス。狹手彦
ノ妻。サヨ姫。名残オシミテ。松浦山ニノ
ホリテキヌノヒレヲフリ。狹手彦ガ舟シテ
子ク也。是ニヨリ其山ヲヒレフル山ト名付
ル也。此注後成恩寺殿御抄ニアリ
松浦　肥前國ノ名所ノ社廣繼ト云人ノ名
タガウノ者トコウロンシ　他郷ハ。他人在所

也口論ハコトバイサカヒスル事也
ロウシヤ　籠者ハメシコメラルヽモノト云義也
大ガウノ者　大剛ノ者剛トハツヨクコハキ心也
女ヘニテノ御サイクワ餘ニ情ナキ事ニテ候
罪科トハ人ヲツミスル事ヲ云罪ハツミ。科ハ。
トガ也御罪科ト云詞心得ガタキ事也
殺害ノトガヲ遁エヌ　殺害ハ殺モ害モ人ヲ
コロス事也
思ヒ内ニアレバ色ハ外ニソミエツミ　本語ハ
思在内色見外トアルゾ。胸ノ内ニ思アレ
バ顔色ニモアラハルヽト云義也

ツヽメトモ袖ニタマラヌ白玉ハ人ヲミヌメノ
涙ナリケリ　古今安倍清行ノ歌也心ハ明也
ナニトテ狂氣トハ成タルゾ　狂氣ハ物クル
ワシク成タル事也
カイラウトウケツトチキリシ　偕老同穴トハ
夫婦共ニ老テ同時ニ死シ。オナシアナニ
ウヅマレン事ヲ契タル義也

セイロウニ月オチテ花ノ間モソヒハテヌ
西樓月落花間曲ト。背ニ品文時鶯ノ
詩也朗詠ニ。ノリタリ。月ノ影西ノ樓ニオ
ツル時分。暁カタニ花ノ間ニ鶯ノ啼聲曲
ヲ奏スルニ似タリト云心也。此女ノ夫ト
一世ソヒハテヌト云ノ心ニ。花ノ散テ
ノ間ヲモ。ノヒ果ヌト云也
イコクニモサルタメシアリ鼓ヲカケテ時ヲシモリシ事
異國ニハ大唐ノ事ゾ。唐ニモ時ヲ打事
アリ。東坡カ詩ニ。長夜黙坐數更鼓ト作
タソ。此詩ノ心ハ。長キ夜ニ。トキモナキホ
ドニモク〳〵トレテ居テアテラレヌホドニ
一時々々ニ時ヲウツ鼓ヲ數テ。夜ノ明
ルヲ待トセ
一レヤウホノ浦ヤカクワウヂヨエイ　湘浦ノ浦ト
廿重語也。娥皇女英ハ。堯ノ二女舜ノ妃
二女トハ。二人ナカラ堯ノ女。舜ノ妃舜ノ
巡狩トテ。御カリト號シテ。天下ヲメグリ。

民ノ愁モアリヤト見メグリ給ヒシニ蒼梧
ト云處ニテ崩御アリシヲガクワウヂヨエイ
其別ヲオシミ瀟湘ノ辺マデ舜ノ御迹ヲ
ヒ行シカ終ニコガレ死ニ死ナレタルシセウ
シヤウニ廟ヲツキテ二女廟ト云也舜ノ
別レヲ惜マレシ故事ヲ以テ夫ノワカレヲ
女ノオシムニタトヘテ作レル乎
カンコハイサムス　諫鼓苔深鳥不驚トハ尭ノ
時鼓ヲコシラヘテ天子ヘ諫申事アラバ

鼓ヲウテトノ義ニ鼓ヲカケタゾ太平ノ世
ニハ天子ニ御アヤマリナケレバイサメノ鼓
ヲ打事モナシ苔ムシテ聲モセヌ程ニ鳥
モオドロカヌト云心也此詩ヲヒキテ作レリ
二世ノカロ　二世ハ今生後生ヲ夫婦ノ
チキル心也
チクゼンノダサイフ　筑前大宰府ト云處アリ
筑前宰府　天神之社アル所トナリ天神
ハ筑前國ニテ薨給ヒシナリ

我親ノ十三年

死メヨリ十三年ニ當テ弔ヒスル故ハ胎藏界ノ十三院ニ各ソレ〻ノ義也十三院ト云ハ一大日如來内證不思議法體顯示二衆生稱中胎院二如來妙智照耀感闡徧知諸法稱徧知院三世尊慈悲蓮華三昧以之濕榮万善名觀音院四智佛慈悲金剛惠即摧破惑障名金剛院五大日慈悲以大三昧焚燒業障名不動院六大悲四弘誓除有情苦集令得道滅樂名四大護院七破有法王出現世間破諸有障名釋迦院八東方世界文殊師利表佛智恵德名文殊院九南方世界除蓋障尊表佛斷德名除蓋障院十北方世界地藏菩薩表佛福德名地藏院十一西方世界虚空藏尊表佛福智名虚空藏院十二如來慈悲隨諸衆生成就衆願名蘇悉地院十三十方世界十二天子名表護身名世天院也

已上胎藏界ノ十三大院之次第如此。コレニ依テ十三年諱ト號シテ佛事ヲ執行也

松浦ノ川　肥前國。松浦ト云所ニアル川也

極樂　極樂トハタノシミヲキハムルト讀也。然レハ。十方ニシイテ諸佛ノ淨土アリ。是皆極樂也。今謠ノ意ハ。西方ノ弥陀ノ極樂ヲ云ナリ阿弥陀經ニ云何故名為極樂其國衆生無有衆苦但受諸樂故名極樂トイヘリ

弥陀誓願ノチカヒカヤ　是ハ弥陀ノ四十八願攝取不捨ノ唱ヘヲ示シテ。極悪ノ人ヲモ救助ベシトノ誓ヒヲアラワクト云事也。委ハ。觀經ノ上巻ノ如シ

二世ノ縁　此ニ二世トイヘルハ。此世後世ノ事ナルベシ。此世ノ夫婦ノムツビ契深ケレバ。後世モ同蓮ニモ心ヲカケタルナルベシ

遊行柳

遊行ガ聖　聖者持戒堅固ナルヲ云也。亦是レ出家ノ通名ナリ。故ニ名目ニモ。敍者聖人被下之言云云

一遍上人ハ伊豫國河野七郎通廣ガ二男也。法師ニナリ。始ハ天台宗タリシガ。十八歳ニテ。西山善恵上人ノ會下ニ至リ。淨土之一家ヲ試ムル事十二年ト云云。其後建治年中後宇多ノ御宇ニ。熊野證誠殿ニ參詣シ

タマヒ。直ニ權現ノ平體ヲ拜シ奉。神勅ヲ
蒙リシヨリ。諸國遊行スル事始レリト云

遊行ノ利益　念佛ノ一門ヲ以テ。自信教
人信シ。普ク衆生ヲ佛果ニ欲令至故ニ回
國修行スルヲ。遊行ノ利益ト申也

六十万人決定往生ノ御札

六字名号一遍法　十界依正一遍體　人
万行離念一遍證　人中上々妙好花

第一ノ句ニ。六字名号一遍法ト云ハ。一
遍上人ノ六字名号ヲ一心專念ニ修行セ
ラルヽ故ニ。六字名号一遍法ト云也。第二
ノ句ニ十界依正一遍體ト云ハ。先十界
ト云ハ。地獄寒熱等ノ苦ヲ受ルヲ云ナリ。餓
鬼常ニ水食等ノ渇苦ヲ受ルヲ云也。畜
生牛馬禽獣等ノ類ナリ。脩羅須弥北海
底。亦ハ四大州山岩ニアリ。嗔恚ヲ體ト
スル也。人ハ人間界也。生老病死ノ苦ヲ受
也。天ハ。天人也。四王等ノ三十三天是也。

聲聞常ニ佛ノ説法ノ聲ヲ聞テ。如ク説ノ修行
學道スルヲ云ナリ。縁覺飛花落葉等ヲ
縁トシテ悟ヲ得ルヲ云也。菩薩上求佛果下
化有情トテ。大悲心ヲ起シ。衆生ヲ化度
シ給ヲ云也。佛果自利々他滿足シ給テ。無
念無相ノ境界ヲ云也。亦依正ト云ハ。此ノ
十界ニ各ノ依正アリ。依報ト云ハ。山河大
地草木國土ノ非情ヲ云也。正報ト云ハ
其國土ニ住スル衆生ナリ。此ノ十界ノ依正ヲ
一遍ノ體トセラルヽ。故ニ。十界依正一遍
體ト云也。第三ノ句ニ。万行離念一遍證
ト云ハ。南無阿弥陀佛ト。一遍唱レバ。他力
不思議ニシテ。自万行ノ念ヲ離ルト。一遍上
人悟タマフヲ。万行離念一遍證ト云也。第
四ノ句ニ。人中上々妙好花ト云ハ。觀無量
壽經ニ。芬陀利華ヲ引テ。念佛ノ行者ニ
譬ル也。亦ハ優曇華トモ云也。是ノ世間ニ
希ナル事ヲ譬ル也云云

衆生ト世々生レタル人々ヲ云ソ
秋津洲 日本ノ惣名也
クニ〳〵廻ル法ノ道ニヨハス月モ光ソフ心ノオク
ヲ白川 國々廻法道不迷月光副心奥白
川者。遊行上人ノ心中ノ明静ナルコト余云
也。不迷月ノ事。謡ノ趣キハ遊行上人ト
心ヒラケテ。法ノ道ニ不迷月モ自光ヲ副
トイヘバ。月ノ迷ヒ不迷ニハアラザル乎。強論之
月ニ為照衆生暗。化現ジ給ヘバ色相ニ顕ハ
ルヽ方ニテ。雲霧モサハリ。蝕モ病トナレバ迷
ノ月トモ申サルベキ乎。但シ非ス實迷ニ不迷々
也。性徳ノ月ハ出入モナク色體ニモ不出故ニ
ニ。不迷ノ月ト云ベキ也。妙樂大師釋云。月ノ
性常圓實無増減矣
白川ノ關 陸奥名所也 千載 紅葉バノ
ミナ紅ニチリシケバナノミナリケリ白川ノ関
イヅクニカコヨヒハ宿ヲカリ衣。月モタクレノ嶺ノ
嵐ニ 定家卿。衣ノヒモトヅヘケラレタリ

所望　ノゾムトコロト讀。コヽハ只ノゾミト云義ゾ
名木　名ノアル、ウヘキ也
サウモクジヤウブツ　草木成佛トハ天台宗ノ極
大乗ノ意ハ依正不二ナレバ草木モ成佛
スト云也。中陰經ニ云。草木國土悉皆成佛
ト云證據也
結縁　エンヲムスブトヨムゾ惣ノ是ヲイハヾ逗善
悪其故ハ善縁ヲムスブモアリ悪縁ヲムスブ
モアリ何レニモ始テ人ニナルハ最初ノ結
縁ト云今ハ佛敎ノ縁ヲ結ブ事ナレバ善根
結縁也。天台ノ六祖譬ヲ以テイヘルトキ
法華疏ニ云。結縁ハ如生イヘリ。此生ト云ハ
二親相縁テ子ヲウミ出スト　コロ父子ノ初
也是ヲ最初結縁ニ譬ヘタル語也
老タル馬ニハアラネドモ道ヲシルベヘ韓子外傳ニ云
齊桓公孤竹ヲ伐時。春ユキテ。冬ニ、デ逗遛
ノ還ソノカヘリサマニ。道ニマヨヒタル也。管仲ト
云者ガ云ヤウハ老馬ハ道ヲシレル物ナレバ老ー

馬ヲ放シテ。其アトニ付テ行ベシトテ。光
馬ノアトニ付テ行ゾ
ジンセキタエテ
人跡断ノ字也。人ノユキヽナキ處ヲ云ゾ
葎蓬生刈萱　何レモ草也
アサヂフヤ袖ニクチニシ秋ノ霜。忘ヌ夢ヲ吹嵐哉。
通光寄嵐懐舊。浅茅生ヤハ古宅ノ事袖ハ
霜ニクチハテタル也。忘ヌ夢ハ。昔ヲ世メテ夢ニ
モト思ヘバソレサヘ嵐ノ吹覺ス也

川ソヒ柳　河ノホトリニアル柳也
セイタイ　青苔ノ字也
コズヱヲウヅム　埋梢ノ字乎
星霜年フリタリ　杜牧集ニ。經幾年月換幾
星霜星トハ。一月ヲカヘテ。十二月ノヲ云也
霜ハ冬也。年ノ暮ノ事也。年月ト云ン為
也。二十八宿ハ。一月ヲカヽユル星也宿音秀
鳥羽院　人皇七十四代
北面　下北面ノ侍也。上北面ハ。諸大夫也

義清　右兵衛尉義清。出家ノ西行トモ圓位上人トモ申也。大織冠鎌足公十五世ノ孫。四條家ノ餘流也

水無月　六月ノ事也

六時不斷　日没ハ酉。日ノ入時ヲ分也。初夜戌ノ時。中夜子ノ時。後夜寅ノ時。晨朝ハ卯ノ時。日中ハ午時也。是ヲ六時トハ云ナリ。此六時ニ西方ノ弥陀ヲ礼讃スル也。礼ハ弥陀ヲ礼拝スル事ナリ。讃トハ極樂ノ莊嚴ヲホムル事ナリ。

道ノベノ清水ナガルヽ柳カゲシバシトテコソ立トマリツレ　西行納涼シバシト思ヒヤスラヒシニホドヘタル心也。スヾミトル涼シサヲワガ袖ニウツシタル心也。西行ノ歌ノ心ヲ云

十念　十聲ノ念佛也。觀經云。具足十念稱南無阿弥陀佛トイヘリ

念珠　珠數ノ事也。念佛ノ數ヲカゾユルタメ也

稱名ノ聲　弥陀ノ名号ヲ唱ル聲也。初夜ノ

鐘トハ戌刻ノ鐘也

流水羅紋海燕回柳條牽恨到荊臺

三體詩也。流水ノ春ニナリテ緑ナルガ羅穀ノ紋ノ如ニ春風ニ吹カレテシワノヨルオリフレ也。其時海燕ガ、ヘル也春社ニ來リ秋ノ社ニ歸ルト作タ時ハ歸ルト云ハ烏衣國ヘ行ヲ云ゾ今回ト云ハコチヘ來ヲ云ゾ。レモ少故アルゾ。コチテ巣ヲツクリテ子ヲ生程ニコチカ、ノ生緣ヂヤホドニ。回ルト云モイハレタゾ。柳トイヘバ離別ヲツナグ心カアルゾ柳條ハ別ニ用ルノナレバ。恨メシヒゾ。荊臺ト云所ヘ向テ行ゾ故ニ如此ト云ゾ

アヒ竹　不知只アフト云カケタル詞也

弥陀ノ教　弥陀ノ他力本願ヲタノミ念佛ノ往生スル佛ノ教也。三部經ニ云。隨意所願皆可得度ト説也

衆生稱念必得往生　弥陀ノ本願ヲタノメバ必ズ往生スト云義。此文ハ善導ノ釋ニ顯也

佛果。此佛果ト云ハ。佛ノ悟ヲ得ル所ヲ佛果ト名也。佛ノ字ヲ天台釋スル時覺者智者トイヘリ。然レバ佛ト云ハ万物ノ心ヲサトリ。万法ノ智恵ヲ收タルヲ佛ト名ク。一法モ闕ナバ佛トハ名ケジト云義也。是天台ノ私ニアラズ。經論ノ義オホシ。翻譯名義集又如右。次ニ果ノ字ノ心ハ。惣ノ佛ニ限ラズ。夫々ノ至極セル所ヲ果ト名クルト見エタリ。小乘經ノ上ニ四果ト云事アリ。其第四ノ果ヲバ阿羅漢果ト名ク。是ヲ世間ニハ。阿羅漢ト云也。阿羅漢ト云ハ天竺ノ語。此方ノ文字ニナス時或ハ殺賊ト云ヒ。或ハ不生トイヒ。或ハ應供ト云フ。此三ノ心ヲ具タルヲ天竺ニテ阿羅漢果ト名クル也。然レバ其道々ノ至極ニハタシタル處ヲ果ト名ツクル也。其果ノ中ニ。佛果ト云ハ。佛ノ覺究竟ルヲホメタル詞也

ハクハツノ老人　年ヨリノ髪ノ色カハリテ白クナル皃也

忽然タチマチノ心也
ヌホレモ柳サビタル柳色ニサビタル老人ノ體カ
ケレタル老人 恠久ル人アヤレキ心也
ヒジヤウムレン 非情無心者。天台六祖云。木
石無心之語生ニ乎小宗矣。小宗トハ。心セバ
キ説也ト云 云随縁不變之説。皆自大教矣。
大教有二。一權大乘。二實大乘也權大乘
ニハ明ニ不變真如ヲ不明随縁真如故ニ非情
無心ト申。實大乘ニハ明随縁真如天台
釋云。不變随縁故名為心矣不變ハ體随
縁ハ用ニシテ草木國土モ有心ヘ成佛一家也譬如
水与波ノ随縁不變倶ニ真如ナレバ。草木國
土悉皆成佛ト申也
一念十念 一世ノ間諸ノ罪ヲツクル報ヒニ、
命終ノトキニ。地獄ノ猛火目前ニ来ル時善
知識弥陀ノ功徳ヲトクヲ聞テ。一念信ズレ
バ。地獄ノ猛火忽ニ消テ。即極樂ニ往生ヲ
得也。故ニ觀經ニ。如ト一念頃即得往生七寶

池中ノ蓮華之内トアリ。十念ト名ニコトハ凡如ク也
只一聲ノ中ニ生　イカナル罪業甚重ナリトモ
フカク弥陀ヲタノミ眞實ニウタガハズニ一聲
念佛申セバ。諸罪消滅シ往生ヲトグル也。
一　此旨觀經ノ説也
此界一人念佛名西方便有一蓮生但使一
生常不退此華還到此間迎　此文ハ五會
法事讃ノ文也。此文ノ心ハ念佛ヲ申セバ
即西方極樂世界ニ一蓮華生ズ。一世ノ
間念佛ヲステザレバ往生ノトキ此華觀音
ト共ニ来テ。念佛ノ人ヲ迎ユル也。
上品上生　大善人上根上智ノ修行ノ上ニ
一向ニ専念佛ヲトナヘテ往生スルヲ上品
上生トハ云也
シヤカステニメツシ　釋迦已滅ノ字也。ミロクイマ
ダシヤウゼズノ字ハ弥勒未生ノ字也。釋迦ハ
滅シテ弥勒ノイマダ出世セザルヲ云也
南無ヤ灑濁歸命頂礼　此文ノ心ハ弥陀タ

スケ給ヘトノ願ノ言也是ハ末世濁乱ノ衆
生ヲタスケタマハントノ誓ノ佛ニテマシマス
間タスケ給ヘト云意也灑濁トハ弥陀ノ
智水ヲ我ラニ灑ギタマヘト云心也
超世ノ悲願　諸佛オホク世ニ出タマヘドモ罪
フカキ衆生ヲタスクル願ハタテタマハザル
ニ弥陀ヲタノメバ往生スル事諸佛ノ悲
願ニ勝レタリト云心也
[illegible]ノ舟ニテノハリノ道　他力船乗道者極悪
ノ凡夫自ノ智恵モナク行モナケレドモ弥
陀ノ攝取ノ願ノ船ニ乗ゾ自ノ力モイラズ
輙極樂ノ岸ニイタルヲ他力ト云也往生要
集云臨命終時弥陀如来以本願故在目
前即従弥陀佛後得生西方極樂世界矣
弥陀ノ四十八願ノ船ニ乗ゾ極樂ノ岸
ニ至ルト也彼岸トハ娑婆ヲ此岸ト云ヒ浄
土ヲ彼岸ト云也譬ハ弥陀ノ本願ノ船ニ乗
ゾ彼岸ニ著ト云ノ心也

彼岸ニイタラン　極樂ヲ彼岸ト云也經ニハ究
竟一乗至于彼岸ト說リ念佛ノ舟ニ乗
ヌレハ必彼岸ニ至也是弥陀ノ誓ノ故也
一葉ノ舟　韻會舟ノ注云黃帝見浮葉方
為舟故一葉ノ舟ト云ゾ黃帝ハ昔ノ三
皇ノ其一人也浮葉トハ水ニ浮ゾ黃帝ノ
臣下貨狄ガ舟ヲ作初テアルゾ韻會ノ注ニ舩ノ
柳ノ一葉ノ上ニ蜘蛛　東坡ガ詩ニ落月
挂柳看垂蛛トシタハ月ノ影ガ柳ニウツリ
タレバ其影ノ内ニ蛛ガカヽリタルヲミタト
作タゾ是モ柳ノ葉ニ蛛ノカヽリタル事ゾ
サリナガラ是ニテ舟ヲ作初タル事ハナシ然
レドモ博學ノ人ハ可知之乎
玄宗華清宮ニモ宮前ノ楊柳寺前ノ花
玄宗ノ御時驪山ニ温湯アリ故ニ華清宮
ヲ作テ楊貴妃ト遊樂スルゾ其詩ニ上ノ
如ニ作タゾ華清宮ノ前ニ柳ガアルゾ寺
前トハ出家ノ寺ニテハナシゾ内裏ニ尚書

御史ト云官ニナリタル者ガ居處ヲ寺ト
云ゾ。ツボ子ヽチカト讀テ。内裏ノ内ニアルヲ
云ゾ。寺ノ字ハ寸土ト云義也。内裏ノ内
ハ地セバクシテ寸土モ大切ナル義也
ソノカミニハ昔ムカシト云同
洛陽　韻會注ニ王城也トアリ。ミヤコノ事ゾ
清水寺ノ古　寶龜九年四月ニ延鎮ト云
僧夢ニミルヤウハ。淀河ニ付テ行タレバ。金
色ノ河流アリ。其源ヲ尋行バ清水ノ瀧
ノ下ニ至也ト夢ニ見ルゾ。其後瀧ニ至
レバ。其カタハラニ老翁アリ。行叡ト云ゾ。翁
曰。此處ニ住スル事二百年。其間千手千眼
ノ神呪ヲ唱ルゾ。翁延鎮ヲ待コト久ゾ。我
ニカハツテ。此處ニ井テ。寺ヲ建立セヨ乃庭
前ノ株枏ヲ指テ曰。是ヲシステ觀音ノ像ヲ
作レル枏木ニセント云ゾ。然ニ其タスケナク
メ。歳月過テ株枏ヲ觀音ノ像トアガムル
也。楊柳觀音トハ元亨釋書ニハ不見ゾ。

但此ノ株杌ヲ楊枊トサス乎。株杌ハ木ノキレゾ。杌ハ説文ニ伐木餘也ト注シタゾ
五色　青黄赤白黒也
利生　衆生ヲ利益スル義也。化度モ同ゾ
利生　観音ノ利生ノ義也。三十三身ノ利益。
惣而依正分タノ慈悲ヲ施。皆観音ノ利益
也。観音ノ互ニ為主伴利益無遍ナル故也
靈地　地靈人傑也ト云語アリ。靈ハ善也

大宮人　公家ノ事也。禁中宮仕スル人達也。
百敷ノ大宮人ハイトマアレヤ。櫻カザシテケフモクラシツ
御遊　禁中ノ御アソビ也
シウキクノ庭ノ面ヨモトノ木カゲ技タレテ暮ニカズアルクツノヲト　蹴鞠之事蹴鞠トヨム。
劉向別録曰。蹴鞠者傳言黄帝所作云云。鞠
ヲ蹴事黄帝ノツクリハシメ給也。結射傳曰。
昔黄帝天下ニ王タリシ時。蚩尤黄帝ト。天

下ヲアラソフ。蚩尤銅頭鐵額ニシテ。弓刃ニテモ害スル事アタハズ。黄帝天ニ祈給フ所ニ。玉女天ヨリ鞠ヲ持テキタリ。返閉ヲフム。此時蚩尤ガ身湯ノワクガゴトクニシテ。タヲレ死ス。返閉トハ。足ノフミヤウ也。鞠ヲケルニモ拍子トテ。アシフミアリ。サレバ鞠ハ蚩尤ガ頭ヲ表セリ。魏略曰。太祖愛之毎在左右。　魏略ハ書ノ名也。太祖ハ。魏王十吾朝ニハ皇極天皇ノ御宇ニ。此道異國ヨリ渡タルトイヘドモ。女帝ナルニヨリテ。モテアソビ給ハズ。天智天皇大織冠ト。槻樹ノ本ニテ蹴給ヒシヨリコノカタ。忠臣賢士モ用之。上ハ禁中ヨリハシメ。下ハ民間ニイタルマデ。此興遊家ニ盛ナリ。是則万機安寧ノ術也。云云　右口傳集内外三時抄ノ説也。四本ノ木懸ハ。四本懸ノ事也。一本懸吾朝ノ懸ノハシメ也。天智天皇ノ御時ノ事ナルベシ。三本懸五本懸六本懸ナドアレ共。

四本懸ヲ専トス。式ノ木ト云ハ。櫻。柳。桂手。松也。四季ニカタドルナリ。又松四本植ヲ規模トスルコトハ。四時榮色アリテ。君子ノ木ナレバ也。四本懸ヲ。今四本ノ木カゲトイヘリ。暮ニカズアルクツノ音トハ。鞠ニ序破急アリ。始ハ序ノ分也。鞠長ノビラカニ蹴也。破分ハ中程ノケヤウ也。急ノ分ハ晩景ノケヤウ也。鞠長ヲツメテケル故ニ。暮ニ鞠ノカズシゲクナル也。暮ニ数アルクツノ音ト云ナルベシ

手カヒノトラハ源氏柏木ノ巻ニ。女三ノ宮ノカヒ給ヘル猫ノ事ヲ云。夕キリカヽレハ木ノ右衛門督ナト鞠ヲ蹴給フオリフシ。猫ノハナレ出タルツナニテ。ミスノアガリタルニ。女三ノ宮ヲ。ミソメラレテ。右衛門督モノオモヒニ成給ヘル事。源氏物語ニアリ

三渡セハ柳サクラヲコキマセテ。都ソ春ノニシキナリケリ　素性　古今前書ニ。花サカリニ。京ヲミヤリテヨメルトアリ

コスノヒヽ　スダレノヒヽナリ
手ガヒノトラ　猫ノ事ナリ。女三ノ宮ノカヒ給
ヘル猫也。源氏カシハ木ノ巻
ナカキ思ヒ　絶ヌ思ヒ也。ツヰニ思ヒ死ニ成シ也
柏木　源氏カシハ木ノ右衛門督ノ事ヲ云也
柳色ノカリキヌ　ウスアサギノ狩衣ノ事也
狩衣　何ノ色モアリ。院御所布衣始トテ。カ
リギヌヲ着御ノ時ヨリ。大臣以下是ヲ着
レテ院ヘマイリ申テ候也

カザオリ　風折烏帽子也
柳氣力ナフシテ　柳無氣力條先動ト朗詠
ニアリ。柳ノヨハ〳〵ト。風ニナビクハ。氣力ノナキ
ヤウナリ。條ガ風ニ動體也
青柳ニ鶯ツタフ羽風ノ舞　柳花苑。樂ノ名ナリ
也。柳花苑　雙調ノ樂也
歌舞ノ菩薩　極樂淨土ノ菩薩聖衆踊躍
歡喜ノスガタニテ。衆生ノ性生ヲ慰テ。ウ
タヒマヒ給フナリ

報謝ノ舞　アヒガタキ弥陀ノ本願ニアヒ。今極楽往生ヲ遂ルコト。弥陀佛ノ御恩徳ナレバ。極楽ノ聖衆ノカズニマジハリテ。成佛トクダツノ喜ニ舞アソブ義也

アサニトリ糸ヨリカケテ白露ヲ。玉ニモヌケル春ノ柳カ　遍照　玉ヲツラヌキタルサマ也。柳カハ。哉也

木綿付鳥　雞ヲ云也。ユフツケ鳥ニツケテ。相坂翁ナドヘ。ハナツエヘ。此名アリト。八雲抄ニアリ

木綿付鳥　子細タヾレカナラズ

リウテウヲワガヌ　三体詩　離別　河辺ノ綰柳條アルゾ。言ハ。綰トハ。柳ノ枝ヲ折テ環ニスルイハレゾ。柳ハコト木ノ様ニハアラデ糸ガ長キホドニテ此糸ヲ離人ニ繋テ結留ト云心也。環ニ柳ヲスレバ。環ハ還ノ字ト音カ近程ニヤガテ。カヘレト云義也

タヲヤカ　ナビク心。ツヨカラヌ体也

タヾヨフアレモト　漂泊　行ヤラヌ体也

フレ柳　フレタル柳也

多生ノ縁　前世ヨリ機縁フカク。今世ニ本願ノ念佛ニアフ事モ。多生ノ縁也。故ニ念佛三昧經ニ云。今此念佛三昧ノ名ヲ聞コトハ。二三四五ノ如來ノミモトニヲイテ諸ノ善根ヲ種タルノミニアラズ。既無量阿僧祇劫ノ。昔千ノ如來ノミモトニ於テ。諸ノ善根ヲウヘテ。今此念佛三昧ヲ聞コトヲ得ト説給フナリ

ニシ吹嵐　秋風ヲ云。西風也。西ハ秋ノ方也。ニシ吹風ドモ云テ。連歌ニ秋ニハナラヌ

終

女郎花

九州ニツラガタ　松浦九州肥前ノ名所也

男山　八幡山ノ事也

ウサノ宮　宇佐　筑前國也。八幡大菩薩也

野ベノヲミナヘシ　野ニアル。女郎花也。草也

チクサノ花　千種ノ花ト書也。色多キ秋草也

野草花ヲ帯テ蜀錦ヲ連子桂林雨ヲ掃テ松風ヲヱラフ　野ノ草ノ花ハ蜀江ノ錦ヲツラ子タルヤウ也。ナイリントハクハシクキコヘサル義也不審也

家ツト　土産ト書。家ヘノミヤゲ也
花ノ色ハムせル粟ノゴトシ俗ヨハツテ女郎トス
戯ニ名ヲ聞テタニ偕老ヲ契ルトイヘリ　花色ハ
如蒸粟俗呼為女郎聞名戯欲契偕老ヲ
朗詠女郎花ノ詩也。女郎花ノ色黄ニシテ
ムせル粟ニ似タリ、女郎ノ名ニ付テ偕老ノ
契ヲムスバント思ヘバ我身ノ老衰テ首ノ霜
ノ如ニナルヲイトヒヤせント恐ル、也、偕老ト
ハ毛詩ニ夫妻ノ契也、形ヲ雙テトモニ老ル

送ル心也
ホカル多キ事也　古今女郎花オホカルノ
ベニヤドリせバアヤナクアタノ名ニヤタチナン、
此歌ノ心也、アヤナクハ無益也、女郎花女ノ
事ニシテ也
花守　花ヲオラせジト守護ノ者也
出家　家ヲイデヽ佛道ニオモムクヲ云也
折ツレハタフサニケガルタテナカラ三世ノ佛ニ花
タテマツル　僧正遍昭歌也　人ノ手ニテ折

タル花ハムサク。ケカルヽ程ニ。其ノヽヽニ。三世ノ
諸佛ニ奉ツラント也
三世ノ佛　過去ノ佛。現在ノ佛。未来ノ佛也。
過去ノ佛トハ前世スギサリタル佛ノ事也。現
在ノ佛トハ今ノ世ヽノアタリニイマス佛ノ事也。
未来ノ佛トハ来世出生アルベキ佛ヲ云也
遍昭僧正　号花山僧正俗名左少将良峯
宗貞桓武天皇三世ノ孫也
名ニ愛テ折ルハカリゾ女郎花ワレ落ニキト人
ニカタルナ　此者同前也嵯峨野ニテ馬ヨリ落
チテ讀ル歌也。ステヽハ愛スル心也。名ニ愛シテ馬
ヨリオリタルゾ。馬ヨリ落タルニテハナキト也
シノブノスリ衣　奥州信夫郡ヨリ。石ニテスリテ。
上スル衣也伊勢物語ニ。春日野ノワカ紫
ノスリ衣シノブノミダレカギリシラレズ　業平
同ミチノクノ忍ブモヂズリ誰ユヘニ。ミダレソメ
ニシワレナラナクニ　女ノ詠ゼルトハアレドモ。
河原左大臣ノ歌也此ノ心也

色カニメヅル花心　花ノ色香ヲ愛スル心也

女郎花ウツレトミツヽソ行過ルオトコ山ニシタテリト思ヘバ

ナヽメキタテルヲミナヘシウシロメタクヤ思フラン

古今ニアリ　前書ニ。僧正遍照ガ本ニナラヘヽカリケル時ニ。男山ニテ女郎花ヲミテノ讀ルフルノイヽミチノ歌也

ナヽメキ　最媚ト書リ。ウツクシキ事也

彼カンタンノカリ枕夢ハ五十ノ哀世ノタメシモ成ナルベシヤ　耶鄲ノ旅屋ニテ。盧生ト云者。呂翁ガ枕ヲ借テ。ヒルネヲシタレバ。黄粱ノ飯ノ熟セヌ間ニ。五十年ノ榮華ヲキハメタヾ皆夢ノ中ノアダナル事也

サンシヤウ　山上ノ平。山ヘノボル義乎

靈地　神靈マシマス地也

山下ノ人家　山ノ下ニ井ル人ノ家也

ニゴリ江　水ノニゴリタル江也

河水ニ浮フ鱗ハイケニモ生ルヲ放ツカト
佛祖通載ニ。唐ノ至徳二年ニ。詔天下ニ置
放生池詔ハ。ミコトノリ也。唐土ニモ魚ヲ放コ
トアリ。其池ヲ放生池ト名ツクル也
イケルヲハナツ 放生ノ二字ノ事。最勝王經
ニ有之也
サカユク サカヘユク也。榮字。サカユク。八雲ノ注
ニハサカユキトアリ
[illegible]ニ新宮ヲ祭スル時。御旅所アリ。八幡
大菩薩ノ放生會ノ時。御旅所アリ
久カタノ月ノカツラノオトコ山サヤケキ
桂男トツヾケタル也。久カタ。久シキト云。枕詞
也。男山谷ハ八幡山ノ事也。久堅空ト云。枕
詞ニテモアリ。月モ空ニアル故也
カゲロフノ岩清水
カゲロフハ春アルカナキカニ飛蟲也。岩トヲクハ
火氣ナドノミユル心岩ト云。ハイケト云テ火ノ
氣ノ心ヲトレル枕詞也。カゲロフノモユル春

一日ト歌ニモアリ。春ノ日ノチラ〳〵トモユルヤウナルヲモ云也。一岩清水八幡也　蜻蛉

苔ノ衣モ妙ナレヤ三ノ袂ニカケウツル　苔ノ衣ハ僧ノ衣ヲ云。三ツノタモトハ。三衣也三衣トハ出家ノ袈裟ヲ衣トハ云也。此袈裟ニ。五條ト七條ト大衣ト。三ノ不同アル也。大衣ヲバ僧伽梨ト云也。七條ヲバ鬱多羅僧トイヒ。五條ヲバ安陀會トイフ也。衣ニ移給スト云ハ。宇佐八幡。清和天皇御宇ニ。行教ト云僧ノ衣ノ袖ニ移テ。男山ヘ来給ヘルヨイヘル事也。元亨釋書ノ十巻并ニ。神皇正統紀ニモ見エタリ

レルヽノハコ　神タイ勧請ノ箱也。神道ノ奥義深秘々々

岩松敲タツテ。山ソヒエ谷回テ諸木枝ヲ連タリ　一岩松ハ。イハノ上ニアル松也。ソハタツトハ。キツト。タチタルカタチ也。山モソビエ谷モメクリテ諸木枝ヲツラ子タル也

ハトノニテ八幡ノ鳩ニケシ給フ子細アリ。ソ
レニヨリテ申スカ

サンセン世界　三千世界トハ今ミル月日ハ一

須弥シメクル也。是ヲ千アツメテ。小千界ト云フ
小千界ヲ千アツメテ中千界ト云フ。此中千界
ヲ千アツメテ。大千界トス。此ノ三ヲ取合テ三
千世界ト云也。須弥トハ八万由旬ノタカサ也
由旬ハ六町道四十里ヲ一由旬ト云也

男ツカ

非歌名所。八幡ニ女塚男塚トテアルト也

是ハ夫婦ノ久ノ土中ニテ候　夫婦トハ夫ハシツ
ト也。婦ハシンナ也。土中トハ土ノ中也。閨エガ
タキ詞ツバキ也

頼風　少将小野良実四世ノ孫也

ヲレカノツノ、ツカノ草　夏ノ鹿ノ角束ヌル程ヲ
云也。ソレヲ塚ノ上ニ生タル草ニ取テ也

ナムイウレイ成等ミヤウガクレユツリシヤウジ頓證
菩提　南無幽霊成等正覚出離生死頓證

菩提トハ南無ハ歸命也。惜キ命ヲ奉佛
ニ丹誠ヲ顕ス也。幽靈トハ靈知也。佛性也。佛
性ハ色ハミエヌ識ニカスカト云也。靈知トハ
無分別知ニ石中ノ火ノ如シ。火アレドモ出サ
レバ分別モナク知コトモナシ。此時ハ無生死
故ニ出離生死トイヘリ。今此靈知ヲ頓證
菩提ト云也。天台云。菩提名道亘立智名
矣此義也

アフ曠野人稀ナリ我古墳ナラテ又何物ゾ
曠野人稀ナリトハ廣キ野也古墳トハフル
キツカ也
カハチヲアラソフ猛獣ハ禁スルニアタハズ
骸ヲ争猛獣トハ虎狼野干ノ類也。猛ハ
タケシ獣ハケダモノ也。鳥部野ノ如ナル野原
ニ死人ノカバチヲアラソヒテクラハントスルハ
禁制スルコトナラザル也
イモセノ浪　妹背夫婦ノ事也。ソレヲ瀬ノ
波トツケタル也。川ノ瀬ニトリナセリ

ヒトハ人間ノ事。又人ノナキ間ノ事ニモ云フ
クルトアクトメカレヌ物ヲ梅ノ花。イツノ人マニ
ウツロヒヌラン　古今ノ歌也
アヘナキ　無安陪。安陪ト書也。竹取物語ニ。右大
臣安陪ノオホシハ。唐ノワケトイフ人ニ。金ヲ。
ツカハシテ。火鼠ノ皮ヲ買ヨセタルニ。ヤケスハ
トアリシニ。火ニ入ヌレバ。メラメラトヤケヌ。ソレヨリ。
アヘナイト云フ詞ハシマル也
貫之　御書所預。本ハ土佐頭。崇神天皇二十五
世ノ孫也
ツラユキモ男山ノ昔ヲオモヒテヲミナヘシノ一時
ヲクチル　古今カナ序ニ。高砂住ノ江ノ松モ。相
生ノヤウニオボエ。オトコ山ノ昔ヲオモヒ出テ。
ヲミナヘシノ一時ヲクチルニモ歌ヲイヒテゾ
ナグサメケル。女ニヨソヘテ。クチルトハイヘリ
シカジ　不如。コレニハマサラジト也
マボロシ　幻術士　真言宗ナドノ祈ヲシテ。
奇特ヲミスルヲ云也

エンブコヒシヤ邪婬ノアツキハ身ヲセメテ
閻浮トハ須弥山ノミナミヲ。南閻浮提ト云フ
此中ノ日本ナレバ人道也。此苦ハ地獄ヨ
リハカロキ故ニ閻浮ニヒシトイフ乎。邪婬ノ
悪鬼ハ身ヲ責テトハ恵心ノ云。又復獄卒
取地獄人置刀葉林見彼樹頭有好端正
厳飾婦女如是見已即上彼樹々葉如刀
割其身肉次割其筋如是劈割一切処已
得上樹已見彼婦女復在於地以欲媚眼
上看罪人作如是言念汝因縁我到此処
見已欲心熾盛次第復下刀葉向上矣獄
卒トハ身ヲセムル悪鬼ナリ。オナシク恵心
云自心所誑イヘリ。今生随所念故自業
自得果経説也。業トハ今生ノ邪婬悪鬼ト
成テ。身ヲセムル也
其念カノ道モ険シキ剱ノ山ノ上ニ恋シキ人
ハ見エタリウレシヤトテ行ノボレバ
剱ノ山トハ。往生要集ニ云。獄卒捉地獄人置

刀葉林見彼樹頭有好端嚴婦女是見
已即上彼樹樹葉如刀割其身肉イヘリ
心ハゴクソツラヲニチゴクノ罪人ヲトラヘテ刀ノ
如クハノアル木ノハアル所ニヲク時ニキノスヱヲ
見レバ能女房アリトミテ身ノキル事ヲモ
イトハズノボレバ其身分々ニキル丶時又木ノ下
ニカノ色アル女房井テ笑テナニトテクダリ給ハヌゾ
トイヘバ又クダルトテ身ヲキル丶イツモ丶ニタブラカ
サレテクルシムカナシヤクノツニニトハルト云也

磐石 大石也
ニツルキノエダ。劔ノ枝トハ恵心云刀葉向上
利如刺刀如前遍割ニ一切身分既到地已
而彼婦女復在樹頭矣刀山劔樹自心所
誑彼地獄中如轉行如是被燒邪欲為因
經説也心ハ劔ノ枝葉アル木ズヱニ色ヨキ女
姓アリトミテノボレバ我身分々ニキレ若ムトキ
ニ又此女房キノモトニアリテヨブツチニクルシム
事如是云云

露ノウテナヤ花ノエン
露臺花縁トハ。蓮臺ヲ。ヲミナヘシノ露ニナゾラヘ臺上ノ佛ヲウル事ヲ云也

葛城

神ノムカシ
神代ノ事ヲ申ナルベシ

カツラキ山
葛城郡アリ。此郡ノ山ナルニヨリテカツラキ山ト申歟

出羽ノ羽黒山客僧
タヒノ僧也。客ノ字タヒト文選ニヨム也。コヽニ云ハ。山伏ノ事ト聞エタリ。惣ノハ。山伏ニカギルベカラズ

宿願
宿ハヤドル願ハ。子ガフ也。ヒサシキ願ト云事也

参詣　イタリマフヅル也
スヾカケ　篠カケ。大峯ノサヽヲ分ル時用也
笑止　ワラヒキザシモナク。迷惑シタル義
也。ワラヒヤム也
フヾキ　雪吹　雪ナラハイタクタヒ袖ヲハラヘ
マシ。花ノフヾキノ志賀ノ山ゴエ　古歌也
ソハツタヒ　山ノ嶮岨ナル所ヲツタフ也
山ノトカケ
山ノ常陰。カゲハ常ニカゲナル処ヿ云也

前後ヲ忘シテ候　行サキヲモ。ウシロノ方ヲモ
。ワキマヘヌ義也
笠ハヲモシ呉天ノ雪　履ハカウバシ楚地ノ花
笠重呉天雪　鞋香楚地花トハ。詩人玉屑第
二十二ニアル詩ナリ。司空ト云僧ノ僧ニヲクル
詩ナリ。僧ハ諸方ヲ行脚メ。アルクモノナレ
バ。呉國ニテハ雪ガ深キホドニ笠ニツモリテ
ヲモク。楚國ニテハ。落花ガ地ニ満テアル上ヘ
ヲ踏ホドニ。鞋モカウバシクアルト云義也

肩上ノ笠ニハ無影ノ月ヲカタラヘ擔頭ノ柴
ニハ不香ノ花ヲ手折ツヽ肩上笠須無影月
擔頭柴挿不香花ヲ此詩ノ心ハ肩ノ上ナル
笠也無影月トハ雪ノ事也白クメ月ニ似
タレドモ影カナキ也擔頭トハ肩ニ擔フコ
ト也頭ハカシラホトリトヨム也柴ヲニナフ
タル事也不香花トハコレモ雪ノ事也木ノ
メ花ハニホヒガアリテカウハシキガ雪ハ
白ノ花ニハ似タレ共匂カナキホトニ不
香花ト云也カウハシカラサル花ト云コト也

タトリく 道ヲタツ子ユクノ心也

シモトユフ 標 枯タル木ヲユフカツラフト云フ
枕詞也

ヤマト舞
日本ヲヤマトヽヨミ東也コノ國ノ舞ノ事歟

ヨソニノミヽシ白雲ヤ タカマ山カツラキ同所也
ヨソニノミヽテヤミナンカツラキヤ。高間ノ山ノ
峯ノ白雲

カツラキヤ木ノヽニ　歌ニ三エタリ
世中ハ電光朝露石ノ火ノ光ノ間ゾト思ヘタヾ
ヨノ中ノホドナキ間ハデンクワウ朝露石火
ノ如ク。スコシノ事也。電ハイナツマノヒカリ
トスルヲ云也。朝露ハアシタノ草ノ上ニ浮
ブ露也日ガ出レバキユルナリ石火ハ。石ヲ
タヽケバ。ヘツト火ガ出ルモノ也。其間ト云タ
トヘ也。何レモソツトノ間ナリト云義也
貢紫　二心ナシ。但シレバ也

ソ三カクタ　山伏ノ惣名也
寒風ヲフセク　サムキ風也。フセクハ防又ハ
禦ノ字也
イノリカチ　祈加持トハ。ヤマブシハ。役行者
淨藏貴所ノ。ツタヘニヨリイノリ。カチせラル、
也。カチトイヘルハ。瑜祇經ニ。三密加持速疾
顯ト述。只今行者ノ身ト口ト意トノ三ツハ。
大日ノ身口意壇那ノ三密一體ノ觀念
ニツイテ。三密加持ト云也。三ツトハヒミツ

ノ法門ナルイハレナリ。慈恵大師ハ禁中
ニテ。無言加持ナサレタリ。又北嶺ノ行者
ハ相應和尚ノ流ヲクシテ。イマヽモカギヲ
イノリトスル也
サナキダニ女ハ五障ノ罪深ニ。女ハ取分
罪深事ヲ。五ツノ障アリトイヘリ。一ニハ女ハ梵
天王トナラズ。是ハ天上ノ中ノ惣ノ王タル
位ノ天也。二ニハ帝釋トナラズ。帝釋トハ。
須弥山ト云山ノ頂ニ。三十三天アリ。其中ノ
ノ王也。月日ノ為ニモ主人也。三ニハ魔
王トナラズ。魔王トハ。他化自在天ト云
天ニ栖所ノ魔王ニテ。一切ノ悪魔ノ頂
上也。四ニハ轉輪聖王トナラズ。轉輪聖
王ト云ハ。人間頂上ノ王也。病モナク壽
モ長ク。一切ノ寳自然ニ降涌キ。敵一人
モ無シテ。天人ノ如クナル人王ノ果報也。
五ニハ佛ニナラズ。是ヲ女ノ五障トハ云也。
但シ是ハ法華ノ意ニハ非ズ。餘ノ経々

二説給ヘル姿也

法ニトカメノ呪詛ヲウケテツタ葛ニテ身ヲイマシメ

呪詛ノ二字ヲハノロフト讀也。但二字ヲ分テイハヽ呪ノ字ハ。物ニ祈ツクル意ナリ。詛ノ字ハ祈ヘタツル義也。此等ノ呪詛ニヨリテ龍蛇ヲ縛ト云事。大毗婆沙論ノ。百十七ノ巻ニアリ

三熱ノ苦　是ハ於蛇體ニ三熱ノ苦アリト云事。長阿含經十八閻浮提州品ニアリ

神ノ三子ツ　天神七代地神五代出生ノ。ウチオツノサタナシ。若人皇ノ代ニ至テ其ノ子細モアル歟所見ナシ

岩橋　イハニテカケタル橋也

金峯山縁起曰。役優婆塞。金峯山与葛城峯為行道於両山召集諸國諸神令渡橋之時金峯大神不勝呪力而且作始之葛城一言主太神又且始作申於行者云自形醜夜間作云云行者夜ノ間ニトイヘル

ヲ。行者イカリテ。孔雀明王ノ呪ヲ以テ。
神ヲシバリテ。谷ノ底ニヲキタルト也
岩橋ノヨルノ契リモ絶ヌベシ。明ルワビシキカツラキノ神
明王ノ索ニテ身ヲ戒　明王トハ。不動明王ヲ
サス歟。總ジテ明王ト云バ。或ハ愛染明王
ナト云テ。其數オホシ。索ノ字ヲバ。ナハト
讀也。明王ノ手ニ鐵ノ索ヲ持給ヘリ。是悪
魔ヲ縛リ退治スル事ヲ顯ス也
神ノクルシミ　神道ニ所見ナシ

石ハヒトツノ神體ニテ。神體ハ。一言主ノ神
ト申也。岩ホヲウケテ鎮座マシマス故ニ申也
岩ホノナツトモツキジ　君ガ代ハアマノ羽衣
マレニキテ。ナツトモツキスイハホナラナン
神ノ五衰　神道ニ所見ナシ
トコトハニ　常住也
法味ヲナメテ夜モスガラ　法味ト云ハ。神
明佛陀ハ。佛法ヲ以テ色心ヲ續給フ。依レ
之威光ヲマス。コノ故ニ佛法ヲ味ニ譬タリ。

仁王經等ニ委ク明セリ
一心敬礼ハ此語ハ本尊ニ向ヒテ敬時ノ
辭也。何ニモ用ル也
五衰ノ睡　天上ノ五衰ノ事。經論ニ少
異説有之ドモ。一所ニ付テ是ヲ沙汰セバ
倶舎釋論ニ云。一ニハ衣服染著塵穢是ハ
天人壽終ラントスル時。紅白ノ如ナル衣
裳モケガラハシク塵ニマミレルヤウニ成テ。
見苦シキ形ナリ。二ニハ華鬘萎爆此ハ
形ハ。天人生レナガラニシテ。頭ノ上ニ花
鬘ノ天冠アリ。是ニ随ヘテ。常ニ天冠ト
イヘルナルベシ。花ノ色香人間ニ無類ノ妙
ナル花ナレドモ。死セントスル刻。人間ノ花ノシ
ボメル如ク。或ハ美キ花ナレ共必ニアフリ
形ノ損ジタル如ニナルト云事ヲ花鬘萎
爆トイヘリ。三ニハ。腋下汗出此ハ一ツハ死セン
トスル刻ニ。腋ノ下ヨリ汗出ト云事也。惣
メ。天人ハ。其身清淨ニメ。五體六根何ヨ

リモ。汚及ビ不浄ヲ出ル事ナシ瑠璃明鏡ノ
ゴトシ。然ルニ死期ニ及ブ時。此ノ悪相出現ス
ト也。四ニハ臭気入レ身ニ。此ノ意ハ惣メ天人
ハ。其ノ身自然ト芬シテ。穢気ノ形モナシ。
死セントスル砌臭気身ニ出入スト云フ事也。
此ノ一ヲ或ル経ニハ。蠅来著身ニ出セリ。意趣
知リカ歟。五ニハ於自ノ座処ニ不得安坐。此意
ハ。自身ノ宮殿并ニ遊楽ノ処々泉水花
林無量也トイヘドモ。死期ニ及ブ時。平生ノ
心ニカハリテ。安楽ノ思ナク。何クニ行テモ行歩
住坐臥トモニ心ニカナハズ苦メル形也。然ルニ
今五衰ノ眠トイヘル意ハ。天上ノ寿
長シテ。人間ノ月日ニ合スルナラバ。万年
ノ齢ヲ持モアリ。千万年ヲ持モアリ。或ハ
一劫二劫ヲフルモアリ。然レドモ終ニ其ノ期ニ
ヲヨビ五衰現ズル時ハ。楽ヲツクシ時節
ノ長カリシモ。唯一炊ノ夢ヨト云タル意ナルベシ
無上正覚ノ月ニサミシ　無上正覚トハ仏ノ

サトリヲ云也。佛ノ覺ハ。万ツノ覺ノ頂上ナレハ也。此功能。今ノオコナヒニ備リタリト云ヘル辞歟

法性真如ノ寶ノ山

法性真如トハ悟ノ體。万物ニ通ソ收ルヲ云此ノ時ハ。千草万木ニテモ。佛ノ覺ヲ備タリト云フ事ナリ。見トコロ聞トコロ。在トアラユル當體悉覺也ト云事ヲ。寶ノ山ニタトヘタリ

峨々タル山　タカイ山也

玉ノ簪　カンザシヲ。玉ニテカザリタルヲ云也

ツタカツラ　小忌衣

葛城山ノ體ヲ申乎。但神代ニハ。葛ノカケテ神ヲノヽシルト云事アリ。小忌衣ハヲミノ裝束アリコレヲ申乎。卒尓ニハ着セサル物也。神服ナルニヨリテイヒ出シタル乎

イチシルキ　掲焉。アラハナル心也

ミクルレキ神　スカタ。變化シテ。アラハルヽテイヲ申乎

山カツラ　アカツキノ雲ナリ

タカマノハラ　天上ノ事也。此處ハ。諸神アツマリ給

也。ハラモノ最初ニ。高天原トオホクカキ申也
神樂ウタ　ウタヒニツ事也
シモトユフ花ノシラニキテ
紹巴申ス　標木ノ枝也シモトハ。タキヽヲ申也日本
書紀ニ　弱木林トアリ又楉トモカキ申也。
シラニキテハ白キヘイ也
イハトノ舞　天照太神ノ磐戸ノ舞ヲ。ウタフテ申歟
アマノカク山　天ノ香久山。和州ノ名所也

終

春日龍神

日ノ入國ヲ尋子ン　大唐ヲ日ノ没所ト云。日
本ヲ日出處ト云也。日本カラ。大唐ハ西ニア
タル故ニ。日没所ト云。日本ハ唐カラ東ニ
アタル故ニ日出處ト云。コヽノ謡ハ日本
ヨリ唐ヘ行故ニ。日ノ入國ヲ尋子ント云フ
栂尾ノ明恵法師ハ　元亨釋書第五ニ。高
辨姓王氏。紀州在田郡人ト云　明恵上人ニ。
春日明神ノ歸依ノ事ハ。釋書ニ是ナシ

入唐渡天　入唐トハ唐ヘワタル事ゾ渡天
トハ天竺ヘワタラント云義也
しキミガ原　愛宕ノ近邊ノ名所也歌
ニハ不見
ナラビノ岡　嵯峨仁和寺之邊也。ニツ
ナラビテアル岡也。名所
ナラ坂　大和ノ名所今ノ般若坂也
三笠山　春日山ヲ三カサ山トイヘリ
春日ノ里　奈良ノ京也

和光　神ノ御心ノヒカリヤハラグナリ
ドウザル　不動トカ不動トカ云ベキナリ
ドウザルト云事不聞
里ハ平安ノチニ。タヲミセ　タイラカニヤス
キ。チマタト云心也
人家長久　人ノ家居モナガク久シキ十月
天児屋根尊　春日第三ノミコト也。下界
神道ノトウリヤウノ神也
鳥居　鳥居ヲ唐ニハ華表ト云也

四所明神　第一鹿島　第二香取
第三平岡　第四伊勢
三ヅヤノ御影　春日ノ末社ニ水屋明神ト
申アリ此ノ義乎
條ヲナラサヌ御代　太平ノ世ヲ云ゾ。大風
不吹ホドニ如此ゾ。周公ノ時ニ風不鳴條ト。
盐鐵論ニアリ
笠置ノ解脱上人ハ　元亨釋書第五ニ云ツ
尚書左丞貞憲ガ子也。母ハ夢ニ高僧私
宅ニ来ト見テ。即孕テ生ル也。母是ニヨリテ。
前生モ亦高僧ニテアリケルト知也。興福
寺ニテ。出家ノ。才ノ譽アリ。一段ノ貧僧ニテ。
乗物又僕ヲモ他所ニテ借リヤトヒスルゾ。
然レドモ。元暦上皇ノ御時参内アリテ。御
歸依也。然レトモ破笠ト杖トヲ我ト肩ニ
カケテ参内也
晝夜カクサンヘンノ擁護　観今シヘンノ字不知其心明恵ト解脱トハ各日各夜ニ参タマヒテ両上人ヲ擁護有ルカ乎

入唐渡天ノ志モ佛跡ヲオガマン為ナレバ
佛跡トハ。佛坐時説法シ給ヒシ住處。或ハ奇
特神變等ノ名所ヲ佛跡ト云。此義西域
記釋迦方誌釋迦譜等ニ具ニ記録セリ
佛在世ノ時ナラハコソ見聞ノ益モ有ベケレ
佛在世ト云ヘルハ。如来世ニ坐ト云事也。三
十成道ヨリ。八十入滅ニ至マテ。五十年ノ
間ヲ。佛在世ノ時ト云。次ニ見聞ノ益ト云
ヘルハ見佛聞法ノ益ト云事也。サレバ佛ニ
値奉事ハ。無量無數劫ニモ一度ナリト説給
ヘリ。其上ナヲ真實ノ説法ヲ聽聞スルコト。
尚甚難ト述給。法華云諸佛興出世懸遠
値遇難。正使出于世説是法復難トイヘリ。
此文ノ中ニ説是法トアルハ。説法多中ニモ
説法華甚希也ト云文也。是故如来在時
ナラバ。入唐渡天有テモ尤可然。今既佛ハ
入滅シタマヒヌレバ。見佛モナシ。聞法モナシ
唯トマリ給ヘト神勅アル心也

春日ノ宮寺コソ即霊鷲山ナルベケレ
春日山ヲ霊鷲山ト云ハ春日ノ御本地釋迦如來ニテマシマス故也
初參　ハジメテマイラル丶トキノ事ゾ
ナラ坂ヤ二ノ手柏ノ二オモテトニモカクニモ子ヂケ人カナ　コノ手柏ハ兒ノ手ニ似タル故ノ名也子ヂケ人ハ佞人ヲ云正直ニアラザル心也二オモテハ表裏アル心也
礼拜　ライレイハイスルナリ

武藏野　春日野之内ニ武藏野ト云處アルト也故事タシカナラザル乎
神ノミニく　神ノ心ノマ丶ニト云ヘリ
佛法東漸トテ　佛法トハ釋尊ノ説法ノ諸經ノ事ナリ。東漸トハ天竺ハ西漢土ハ東ナレバ釋迦ノ經々西方ヨリ東方ニ來ル事ヲ東漸ト云漸ノ字ハスムトヨメバナリ此來レル時代ハ於異國前漢ノ代後漢ノ代ト云事アル中ニ後漢ノ代ノ第二代

孝明皇帝ノ御宇ニ。永平十一年戊辰ノ
歳ニ渡レリ。當日本ノ人王第十一代垂
仁帝即位九十七年也
五々ノ時世ニイタリツ、是ハ釋尊ノ入
滅ヨリ已後。二千五百年ノ事ヲ云也。是
ヲ五々ト云ハ五百年ツヽ二分ル時ノ義也
是ヲ法華經ニ。後五百歳中トサセルハ今
ノ比ニ當也。五々ニ分タル事大集月藏
經ニアリ

三国流布ノ妙道今我朝ノ時節トカヤ
三國トハ天竺震旦吾朝ノ事也。釋尊天
竺ニ出世アリテ。佛法ノ不思議ヲ弘給
事。三十成道ヨリ。八十入滅マテ。五十年
ノ間也。是ヨリシテ於天竺佛法天下ニ流布
其後佛法ハ。大唐ニ渡ル事ハ右ノ佛法
東漸ノ所ニ記カ如シ。又日本ニ渡ルコト
ハ人王第三十代欽明天皇即位十三年
壬申ノ歳十月ニ。百濟國ノ王ヨリ。釋迦

佛ノ像ト。并ニ經論ヲ渡セリ。是ヨリ始テ
日本ニ佛法流布スル也
佛法流布　佛法ハ。佛ノ法也流布ハ。ドコヘ
モツタハル義也
佛跡　ホトケノアト也
天台山ヲ拝ベクハ　此山ハ大唐ノ台州ト云
所ニアリ高ハ一万八千丈周ハ八百里アリ。
是ハ。六町ヲ一里トスル也。此事。方輿勝覧
ノ第八ノ巻ニ見エタリ。此山ハ如來ノ千代
ノ説法ヲ。少モ相違ナク。初テ弘給ヘル。太
師先徳ノ住給ヘル山ナレバナリ
比叡山　此山ハ天台宗ナルニ依テ。天台山ニ譬
也
五臺山ノ望アラバ　此山ハ大唐ノ代州ノ。辰
巳ノ方ニ當テ。五ノ峯アリ。由之五臺山トハ
云也。三百里四方ノ山也此山高キガ故ニ
常ニ寒シ。是故ニ。谷ニハ松柏ナドアレドモ
嶺ニハ草モ不生ト見エタリ。文殊常ニ此ノ

山ニ住シ給ヘリ。右ノ意ハ三寳感通録ノ下
巻ニ出タリ
芳野　藏王ヲ下ニ含メル乎
筑波　常陸國鹿嶋之明神鹿ニ乗給テ春
日山ニウツリ給フ心ニテカケルナルベシ
昔ハ靈鷲山今ハ衆生ヲ度セントテ
八幡ノ御託宣也。ムカシハ靈鷲山ニテ
説法アリ。今ハ宮中ニアツテ。衆生ヲ度セン
カタメニ大菩薩トアラハレ給フトノコト乎

靈鷲山　此ハ釋尊説法ノ處也。グワレキ
事オクノ鷲峯ノ説法ト云所ニ見ルベシ
衆生ヲ度セン　衆生ハ世々ニ生ヲ受タル物ヲ
云度セントハスクフ心也
示現　シメシアラハル丶也
釋迦牟尼佛世ニ出テ　佛出世ノ國ハ天
竺迦毗羅衛國也。父ヲハ淨飯王ト申ス。嵐
毗尼園ノ無憂樹ト云木ノ下ニテ。摩耶
ノ右ノ脇ヨリ誕生シタマヘリ

シカレバ誓アル慈悲万行ノ神徳　慈悲ノ
二字ヲバイツクシミカナシムト讀也。慈ト云ハ。
父ノ子ヲ思皃悲ト云ハ母ノ子ヲ悲ム姿
也万行トイヘル事ハ一万ニ限ニハアラス万ニ
ワタリテ平等ノ慈悲アル神徳ト云事也
小機ノ衆生ヲ悲給フ惣メ。一切衆生ノ氣
分ニ。小乗ノ機大乗ノ機ト云事アリ大乗
ノ機ト云ハ。我身ノ上ヲ捨テ。他人ヲ救ハン
ト思慈悲ヲ本トスルヲ云。是菩薩ノ機
分也。小機ト云ハ人ヲ捨テ。我身ヲ専トト
シ。佛ニ成テ。衆生利益モ辟ナリ。唯此身
ヲ捨テ。二度肉身ヲ受ザルヤウニト願フ小ノ
機ト名テ。佛法ニ甚嫌事也此小機ヲ今
神慮モ悲給フト也
瓔珞細軟ノ衣ヲ脱麁弊ノ散衣ヲ著シツヽ
四諦ノ御法ヲ説給ヒシ　衣ヲヌキテハ佛也。
此意ハ。瓔珞細軟ノ衣ヲ脱トハ。結構ナル
衣ヲヌキ給ヘル事也。佛ノ相好荘嚴光明

等其數量ナケレ共小乗ノ機ヲ悲オボシメスガ故ニ廣大ノ形ヲ隠シ衣ヲ脱ニ譬タリ。サテ麁幣散衣ヲ着スルトハ。ヤツレタル麁相ナル衣ヲ着シタマヘル事也佛ノ廣大ノ嚴ヲ捨テ。一丈六尺ノ身ヲ示シ衆生ニ應同シ。病氣ナドニテモ現ノ小乗ノ法ヲ小機ニ教示セルヲ。麁幣散衣ヲ着スルニ譬タリ。次ニ四諦ノ御法ヲ説給ヒシトハ此四諦トコハヨツノアキラカナリトヨム。一ニハ苦諦是ハ衆生ウマレテヨリ死スルニ至マデ万事皆苦ナルヲ。迷テ樂也ト思ヲ。佛苦也ト教給ヘルヲ聞テ合點スル時。苦也トアキラムルト云ヘル事也。二ニ集諦ト云ハ。一切衆生日々夜々。念々貪欲嗔恚愚癡ノ悪念ニヨリテ。身ト口ト意トノ。三ノ所ニ。種々ノ悪業ヲ集メ作ヲ佛是ヲ示シ給フ時。サヤウニ致セバ生々世々六道輪廻ノ種ナルガ故ニ成ベカラズト教給。

衆生是ヲ聞テ諦ニ合點スルヲ集諦ト
ハ云也二ツニ道諦ト云ハ佛道修行トテ色
色ノ行ヲ成テ身口意モ善人ニ成ラ道
諦ト云也四ニ滅諦ト云ハ道諦ノ修行ニ
ヨリ肉身ヲ滅シテ重テ生レサルヤウニ思
ヒ定ルヲ滅諦ト云也是小乗ノ四諦ノ一
筋也是ヲ四諦ノ御法ヲ説給ヒシトハ云也
鹿野苑モコヽナレヤコノ鹿野苑ト云所ハ
天竺波羅奈國ト云所ニアル也鹿野苑ト
名ル故ハ昔此所ニテ佛鹿ト成テ衆生ヲ
利益シタマヘル事有キ是ヨリ鹿野苑ト
ハ云也此姿ハ大論并ニ善見律等ニ見
エタリ此所ニシテ佛初テ小乗ノ法ヲ説キ
給ヘル住所也今ノ意ハ佛跡ノ鹿野苑ノ
拝タクハ春日野ノ鹿ノ起臥ヲミラレヨト
ノ神勅也

西ノ大寺 大和國名所ノ寺也律宗ノ本寺也

七大寺 東大寺興福寺元興寺大安寺藥師

寺法隆寺也。大和國ニアリ
三笠ノ山ニ五天竺ヲウツシ
是ハ天竺ノ國ヲ五ニ分ル時。東西南北ノ
四ニ中天竺ヲ加ヘテ。五天竺トハ云也
摩耶ノ誕生　此語ハ摩耶夫人。悉達太子
ヲ誕生シ給フト云事也。摩耶夫人トハ
佛ノ御母ナリ。善覺長者ノ息女也。四
月八日ニ摩耶夫人嵐毗尼園ニ行啓ア
ツテ。無憂樹ノ花ノ枝ヲ折ントテ右ノ

手ヲ擧給ヘル時。珠ノ顯ガ如出給ヒテ。
四方ニ七歩シ。一指ヲ天ニサシ。一指ヲ地ニ
サシテ。天上天下唯我獨尊ト唱ヘ給ヘリ。
如此ナリシニ。御母ノ右ノ脇ハ少モ破レズ。
跡モナシ。然レドモ。七日アリテ。御母入滅
シ給ヘリ。是ヲ知ザル者。太子ノ誕生ニ依
テ。母ノ脇モ破レ。早入滅シ給フト云ハ邪
見ナルベキ由涅槃經ニ宣給ヘリ
伽耶ノ成道　伽耶ト云所ハ中天竺。摩竭
伽

陀國ノ城ノ西南五六里ニアリ。此所ヲ亦云テ。正覺山ト云山アリ。此麓ニテ。正覺ヲ成シ給ヘリ。正覺トハ。佛ニ成事ヲ云也

鷲峯ノ説法　鷲峯ト云ハ。亦ハ靈鷲山トモ云。此山モ摩竭陀國ニアリ。一切ノ諸佛出世ノゴトニ。此山ニテ。法華經ヲ説給フ也。サテ靈鷲山ト名タル事ハ。山ノ頂鷲ニ似タリ。又鷲多ク。此山ニ栖リ。是ニ依テ。鷲峯トハ云也。此事。増一阿含經。大論等ニ

見エタリ

雙林ノ入滅　雙林ト云所ハ。拘尸那國跋提河ノ邊ニアリ。雙林ト云ヘル故ハ。四方ニ二本ツヽ。ナラベル樹アリ。其中間ニテ。佛涅槃ニ入給ヘリ。然ルニ。此木ハ。此方ノ松杉ナドノ如ク。葉恒ニアリテ萎サル木也故ニ堅固樹ト名ト見エタリ。然ニ。如來入滅ノ時。俄ニ四方ノ木。一本ヅヽ枯テ。葉白ク成。一本ツヽハ其マヽ榮タル色也キ。依テ

黒白二色相雜ヲ鶴ノ羽ノ黒白相交ヘ
ハル二譬テ鶴林トモ名タリ是ヲ四枯四
榮ト云也此等ノ姿涅槃經并西域記
等ニ見エタリ此入滅ト云ハ佛死給ヘ
ル姿ヲ云也

木綿四手　ユフニシデヲ付ル事アリ

時風秀行　常陸國ヨリ春日大明神大
和國ヘ影向ノ時供奉申兩人也

時ニ大地震動スルハ　惣シテ如來說法ノ時
雨華動地トテ色々ノ華フリ大地震動
スル事アリ今ハ是ヲ表セル乎

イカサマ下界ノ龍神出現カヤ　龍神ハ多
居池中海底故ニ下界トハ云也是等モ皆
出現スルト也

人民一同ニ雷動セリ　雷鳴スル時必震
動ス是ヲ雷動トハ云ナリ佛說法ノ時雷
鳴此ヲ天鼓自然鳴トモ云今ハ此瑞相ヲ
現セル乎

スハ八大龍王ヨ　一ニハ難陀龍王。是ヲバ歡
喜ト翻スル也。二ニハ跋難陀龍王。此ヲ善
歡喜ト翻ズル也。此二ノ龍王ハ兄弟也。常
ニ中天竺摩竭國ヲ守護ス。能時分々々
ニ雨ヲフラシ。國豊ニ民モオダヤカナレバ國王モ
彼ノ龍王ヲ祭給ヲ。民聞之喜悦ノ思ヲ
作ジユヘニ。即ヤガテ龍王ノ名ヲ。歡喜ト名
ト見エタリ。三ニ娑伽羅龍王。是本海ノ
名也。此龍ハ彼海中ニ恒ニ居スル故即名
トスルト見タリ。四ニ和修吉龍王。是ヲバ
唐ニテハ多頭ト云也。其頭ノ形ニヨリテ名
ヲ付タリ。五ニ德叉迦龍王。是龍ハ別ノ言
語ニ違ス。能モノ云處ノ龍王ナレバ即多
舌龍ト名ヲ付タリ。六ニ阿那婆達多龍
王是ハ本來池ノ名也。此池ニ栖龍王ナ
レバ即名トスル也。七ニ摩那斯龍王是ヲバ
大身ト翻スル也。大カノ修羅ガ寄合テ大
海ノ水ヲタヽキアケ忉利天ノ喜見城ヲ

淹溺ス処ヲ此龍ノカヲ以テ此海水ヲ
モ止ナントスル程ノ龍ナレバ大身龍トハ
名ツケタリ八ニ優鉢羅龍王是ヲハ青蓮
華池ト云オリ此龍ハ恒ニ青蓮華ノ池ニ
居住スル故ニ即名トスル也

百千眷属　眷ハトモカラ属ハタグヒ也百
千別ノ義ナリ

平地ニ波瀾　八大龍王春日山ニ現ズル木
ドニ平地ニモ大海ノ如ニ波ガ立ツ

佛ノ會座ニ出來シテ御法ヲ聽聞スル
靈山會上ニ來テ法華ヲ聽聞スル義ナルヘシ

妙法緊那羅王又持法緊那羅王
是等ハ帝釋天王ノ臣下ニシテ説法ノ時ノ
樂人ナリ其形頭ニ一ノ角アリ其餘ハ人
ニ似タリ故ニ諸經ニ人非人ト出セル此
謂也

樂乾闥婆王樂音乾闥婆王
此一類ノ名ヲ臭香ト名ツク以香食トスル

カユヘナリ帝釋俗樂ノ神也
婆稚阿修羅王羅睺阿修羅王
阿修羅ハ天竺ノ語大唐ニハ無酒ト云フ也
有故斷酒セシ故ニ無酒トハ名タリ然ニ
婆稚阿修羅ト云ハ被縛ノ義也此意ロ
ハ帝釋ト闘シ時戰ニ負テしバラレし事
有シヨリ此名ヲ蒙レリ是ヲ天竺ニハ婆
稚ト云也次ニ羅睺阿修羅王ト云ハ障
持ノ義也是モ帝釋ト戰時ニ日月ノ
光ヲ障ヘ手ニ取ントスル如キノ者也此故
ニ障持トハ名タリ此等ノ相具ニハ法華文
句ニ見エタリ
恒沙ノ眷屬引連々々　恒沙トハ恒河ガハ
ノ沙ト云事也此河ハ天竺ノ北無熱池ト
云池ヨリ出也天竺ノ中ニテモ諸ノ河ノ中
ニ廣大也ト見エタリ然モ沙ノ皃微少也
仍數ノ多キ事ヲ恒沙ノ眷屬ト云フ
坐列セリ　龍神ガ一面ニ坐シナラブ義也

龍女ガ夕チ舞 波瀾ノ袖 龍ノ舞ナル故ニ
波ノ袖ト云ゾ。龍女トハ法華ノ提婆品ニ
八歳ノ龍女。寶珠ヲ佛ニマイラセテ。即身
成佛スル也其世界ハ南方無垢ト云ゾ
和田ノ原 海ノ惣名也
ウナバラ 海原和海ノ事也
佐保川 春日ニ近キ名所也
飛火ノ野守 古今 春日野ノトブヒノ野守
出テミヨ今イクカアリテワカナツミテン

・辭案抄ニ云春日野ニ飛火トイフコトアリ。
燒タテラレケル故トナリ其野ヲモ飛火野
守ト云。野ニモル人ナレバ出テミヨト云テイクカ
アリテカ若菜ツムホドニナルベキト云也
唐ノ烽火ノゴトク。日本ノ烽火也伊駒ノ
トブヒカクニニケフリヲタツレバアハヂノ繪
嶋ニ又ケフリヲタツル也ソレヲ西國ニテ。
奈良ノ都ニ急事アリトシリテノボレル也
日本ニ八 烽 燧 春日ノ飛火野ヨリ

火ヲバタテツムル也
サテ佛跡ハ尋ヌヘシヤ　佛跡ト云ヘルハ三十
十歳道ヨリ。八十入滅ニ到ルマデ。五十年ノ
説法ノ名跡悉ク此ニテ拜ツレバ。渡天シ
尋ヌル事ヲモヤメタテマツルト也
龍女ハ南方ニ飛去行バ　此語ハ龍女ハ
法華ノ時此世界ヨリ。南ノ方無垢世界
ト云國土ノ主ニテ。成佛ノ身ナレバ我國
ヘカヘリ給ヘリト云形也

猨澤　奈良里近キ澤也。今モ誰モシレル所也
其長千尋ノ大蛇　尋トハ。七尺ヲ云ゾ。是ヲ
千合テ。千尋ト云也。大蛇ノ長必千尋ア
ルニテハ有ベカラズ。只長キトイハンタメナルベシ
地ニ蟠リテ　蟠トハ。龍ノウヅクマリタル形
也
池水ヲカヘシテ　池ノ水ヲカヘスノ義也

文化己巳

国立公文書館
National Archives of Japan